

令和5年度 行政評価結果報告書

静岡県吉田町

目次

1	行政評価結果報告書の概要	1	公園・緑地・水辺	27
			道路網	29
2	行政評価報告書		生活交通	30
	第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	4	コミュニティ	30
	地震・防災対策	5	多文化共生	31
	治山治水対策	6	賑わいづくり	31
	交通安全対策	7	第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	33
	くらし安全	8	幼児教育	34
	消防・救急	8	学校教育	34
	第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	9	地域教育	36
	健康づくり	10	青少年健全育成	37
	地域医療	11	芸術文化・文化財	37
	地域福祉	12	生涯学習	37
	社会保障（国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護）	13	スポーツ・レクリエーション	39
	子育て支援	15	第6章 豊かな自然と共生するまちづくり	41
	高齢者福祉	18	上水道	42
	障害者福祉	18	下水道・浄化槽・し尿処理	43
	第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり	20	環境衛生	44
	農業	21	ごみ減量・リサイクル	44
	水産業	22	地球温暖化防止対策	45
	商工業	23	第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	46
	観光	23	行財政	47
	新産業	24	高度情報化	52
	企業誘致	24	情報公開	52
	雇用・就業対策	24	広報・広聴	53
	第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	25	住民参画	53
	土地利用	26	男女共同参画・人権尊重	53
	住環境	26	ユニバーサルデザイン	54

行政評価結果報告書の概要

1 行政評価結果報告書について

この報告書は、PDCAサイクルの考え方を取り入れた吉田町まちづくりステップアップ行政評価システムのツールである、「吉田町まちづくりステップアップシート」の「C(Check)」シートにおける次年度の方向性を抜き出し、後期基本計画における章及び分野ごとに取りまとめたものです。

原則、ここで示された方向性に基づき、次年度以降の実施計画の作成及び次年度予算要求が行われます。

2 項目の説明

本報告書における項目の説明は以下のとおりです。

- ① 「No.」…通しの番号
- ② 「実施計画事業名」…評価の基本単位となる実施計画事業の名称
- ③ 「令和4年度の予算事業」…令和4年度に予算を伴って実施した「実施計画事業」に対応する「予算事業名」と「決算額」
- ④ 「令和5年度の実行状況」…令和5年度の実施計画事業に対する実行状況については、令和5年6月1日時点における内容を取りまとめたものになります。
- ⑤ 「令和6年度の方向性」
 - ・ 「現状のまま継続」…実施計画事業の目的や手法を変えずに継続する場合
 - ・ 「見直しの上で実施」…実施計画事業の目的や手法を見直して実施する場合
 - ・ 「休止」…実施計画事業の目的はそのまま、実施計画期間において実施を中断している場合
 - ・ 「廃止」…実施計画事業の全部を取りやめる場合
 - ・ 「終了」…あらかじめ予定された実施計画事業が終了した場合
- ⑥ 「担当課」…実施計画事業の担当課

3 分野別における「令和4年度決算額」及び「令和6年度の方針性」の集計結果まとめ

章	分野	令和4年度決算額(千円)	現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了
第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	地震・防災対策	66,117	6	2	0	0	0
	治山治水対策	83,586	3	1	1	1	0
	交通安全対策	31,630	2	1	0	0	0
	くらし安全	45	1	0	0	0	0
	消防・救急	354,682	5	0	0	0	0
章の合計		536,060	17	4	1	1	0
第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	健康づくり	406,161	4	2	0	0	0
	地域医療	409,269	4	0	0	0	0
	地域福祉	182,613	6	0	0	0	0
	社会保障	5,890,129	9	0	0	0	0
	子育て支援	1,130,518	10	2	0	0	0
	高齢者福祉	75,886	3	1	0	0	0
	障害者福祉	737,614	2	2	0	0	0
章の合計		8,832,190	38	7	0	0	0
第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり	農業	65,858	9	0	1	0	0
	水産業	132,048	1	2	0	2	0
	商工業	78,525	0	1	0	1	0
	観光	32,978	0	1	0	1	0
	新産業	4,961	1	0	0	0	0
	企業誘致	204	1	0	0	0	0
	雇用・就業対策	2,954	0	1	0	1	0
章の合計		317,528	12	5	1	5	0
第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり	土地利用	6,153	1	1	0	1	0
	住環境	114,309	3	1	0	2	0
	公園・緑地・水辺	62,661	3	3	0	2	0
	道路網	247,944	2	3	0	6	0
	生活交通	28,478	1	0	0	0	0
	コミュニティ	39,474	2	0	0	1	0
	多文化共生	591	0	1	0	0	0
	賑わいづくり	658,951	4	2	0	0	0
章の合計		1,158,561	16	11	0	12	0

章	分野	令和4年度決算額(千円)	現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了
第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	幼児教育	96,552	1	0	0	0	0
	学校教育	403,686	11	2	0	0	0
	地域教育	4,488	0	1	0	1	0
	青少年健全育成	731	0	1	0	0	0
	芸術文化・文化財	4,014	2	0	0	0	0
	生涯学習	171,828	3	4	0	1	0
	スポーツ・レクリエーション	47,902	0	2	0	2	0
章の合計		729,201	17	10	0	4	0
第6章 豊かな自然と共生するまちづくり	上水道	897,684	7	0	0	0	0
	下水道・浄化槽・し尿処理	2,153,749	8	1	0	0	0
	環境衛生	36,880	5	0	0	0	0
	ごみ減量・リサイクル	536,924	2	0	0	0	0
	地球温暖化防止対策	400	1	0	0	0	0
章の合計		3,625,637	23	1	0	0	0
第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	行財政	2,908,315	27	3	5	0	0
	高度情報化	82,191	0	1	0	0	0
	情報公開	5,766	1	0	0	0	0
	広報・広聴	10,520	1	0	0	0	0
	住民参画	607	1	0	0	1	0
	男女共同参画・人権尊重	3,094	3	0	0	0	0
	ユニバーサルデザイン	0	1	0	0	0	0
章の合計		3,010,493	34	4	5	1	0
合計		18,209,670	157	42	7	23	0

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 1 地 震 ・ 防 災 対 策

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
1	災害救助事業	災害救助費	0	・関係課と連携して県が主催する研修等に参加し、突発的災害に備える。 ・総合防災訓練において、福祉避難所運営マニュアルの改善点の洗い出しを行う予定。	見直しの上で実施	・避難行動要支援者個別計画を含め、災害時避難行動要支援者対策の推進を図る。 ・福祉避難所運営マニュアルの改訂を行う。	福祉課
2	災害復旧事業	農林水産施設災害復旧費	0	・災害の未然防止及び災害時への備えとして、資機材及び施設の点検等、適正な維持管理を行うとともに、災害発生時は早期復旧に努める。	現状のまま継続	・災害の未然防止及び災害時への備えとして、資機材及び施設の点検等、適正な維持管理を行うとともに、災害発生時は早期復旧に努める。	建設課
		公共土木施設災害復旧費	0				
		道路災害復旧費	2,788				
		河川災害復旧費	1,003				
		公園災害復旧費	396				
3	地震・防災対策事業	地震対策費	15,230	・国や県の交付金を積極的に活用し、防災用品等の整備を行う。 ・引き続き、原子力災害広域避難計画の広域避難先となる県内(静岡市・富士宮市)及び県外市(群馬県前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、太田市)と協議を行う。 ・川尻防潮堤エリアの維持管理は、シーガーデンシティ構想の賑わいづくりに結びつくよう、花の修景作業等を行い、適正な維持管理を検討する。 ・津波遡上シミュレーションの業務委託を実施し、L2クラスの津波をどこからも町内に越流させない「全周防御」対策を具現化する。	現状のまま継続	・防災に関する補助制度を最大限に活用し、地震・津波対策を推進する。 ・河川防災ステーション及び水防センターを活用した水防対策を推進する。 ・川尻防潮堤エリアについては、シーガーデンシティ構想の具現化のため、美しい景観や環境保全に配慮した維持管理を行う。	防災課
		国民保護対策費	1				
		静岡県総合防災訓練事業費	5,147				
4	防災意識向上事業	防災意識向上事業費	14,106	・感染症対策と経費削減のため、「静岡県ふじのくに防災士養成講座」を活用し、自宅等でも受講できるように吉田町地域防災指導員養成講座を開催する。 ・感染症対策と受講者の利便性向上のため、防災講演会は動画配信による聴講ができるように実施する。 ・吉田中学校1年生全員を対象としてジュニア防災士養成講座を開催する。令和5年度の講座を実施することにより、吉田中学校の全学年がジュニア防災士養成講座を受講したことになる。 ・地域防災力の向上のため、地域防災指導員と自主防災会が力を合わせて防災訓練等に取り組むように促進する。	現状のまま継続	・防災公園(北オアシスパーク)の来園者等を対象に既存防災設備の説明等を行い、防災意識の向上と知識の普及に努める。 ・引き続き、地域の防災リーダーとなる地域防災指導員の育成とフォローアップに努める。 ・吉田中学校と連携し、在学する全中学生がジュニア防災士になれるよう、1年生全員を対象としたジュニア防災士養成講座を開催する。 ・町民の防災意識の向上を図るため、防災課職員の行う出前講座や防災教育を積極的に実施する。	防災課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
5	TOUKAI-0促進事業	TOUKAI-0促進事業費	9,923	・無料診断や計画策定で終了している家屋を中心に戸別訪問を実施する。 ・木造住宅の耐震補強計画策定及び耐震補強工事補助金が、一体型補助金制度(社会資本整備総合交付金)となり、計画から工事実施までを一連で補助することにより、引き続きTOUKAI-0事業の推進を図る。 ・ブロック塀撤去費補助金について、町内の通学路及び避難路を町耐震改修促進計画に位置付けることにより、社会資本整備総合交付金を活用し、引き続き事業の推進を図る。	現状のまま継続	・木造住宅の耐震補強計画策定及び耐震補強工事補助金一体型制度について、戸別訪問やPR活動を行い制度の周知を図り、木造住宅の耐震化を推進する。 ・ブロック塀の撤去事業については、制度の周知を図り、ブロック塀の撤去を推進する。 ・県は、令和3～7年度の5年間でTOKAI-0事業の集大成とする方針を掲げたことから、町としても、県とともに建築物の耐震化の推進を図り、更なる住民の安全で快適な住環境の整備を図る。	都市環境課
6	津波・高潮危機管理対策事業	津波・高潮危機管理対策事業費	3,463	・令和4年度に実施した業務委託の成果をもとに、関係機関との協議を進める。	現状のまま継続	・令和5年度の関係機関との協議を踏まえ、津波対策の工事着手に向けた事業の進捗を図る。 ・令和6年度はL2津波対策に係る業務委託を実施する。	産業課
7	防潮堤整備事業	防潮堤整備事業費	968	・引き続き、シーガーデン整備と調整を図りながら、住吉工区の防潮堤整備について検討する。	見直しの上で実施	・令和7年度からの住吉工区の盛土工事着手を目標に関係機関との調整を図るとともに、測量設計業務を実施する。	建設課
8	情報伝達充実・強化事業	情報伝達充実・強化事業費	13,092	・有事に備え、各種防災行政通信機器等の保守・点検を行い、適正な維持管理に努める。 ・同報無線と防災ラジオ、音声自動応答サービス、よしだ防災メール、吉田町公式LINEを連携させ、同報無線の放送内容の多重化を継続する。 ・よしだ防災メール、吉田町公式LINEによる大雨前の注意喚起など、きめ細かな防災情報を配信する。	現状のまま継続	・防災行政無線のデジタル化整備後の状況を把握し、計画的な維持・改善を行う。 ・災害時の円滑な対応を図るため、情報伝達機器の操作について職員に周知する。 ・引き続き、災害時における町民への正確な情報伝達の方法や、防災情報伝達の多重化について検討する。 ・引き続き、よしだ防災メール、吉田町公式LINEの登録を促進する。	防災課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 2 治 山 治 水 対 策

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
9	治水対策推進事業	治水対策推進事業費	24,219	・「坂口谷川水門建設促進期成同盟会」により、坂口谷川水門の早期完成を県に要望する。 ・普通河川宮裏川河口部の第3号ポンプ場整備に向けた詳細設計及び工事発注を実施する。 ・湯日川流域の総合的な治水対策を踏まえたハード・ソフト対策の計画検討を実施する。 ・町内の河川において、浚渫を実施する。	現状のまま継続	・坂口谷川水門は、令和6年度中の完成を予定しており、「坂口谷川水門建設促進期成同盟会」において、完成、供用に向けた準備を進める。 ・「坂口谷川水災害対策プラン」に基づき、坂口谷川流域のハード整備を進めていく。 ・湯日川流域の総合的な治水対策を踏まえたハード・ソフト対策の計画検討を実施する。 ・町内の河川において、浚渫を実施する。	建設課
10	水防事業	水防費	2,652	・水害に備え、水防資機材の点検及び補充を定期的実施する。 ・水防資機材リストの作成を進める。	現状のまま継続	・引き続き、水害に備え、水防資機材の点検及び補充を定期的に実施する。	建設課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
11	都市下水路事業	都市下水路費	—	・実施予定無し。	休止	・現時点において、都市下水路の改修計画がないことから当該事業は、休止とする。	建設課
12	大幡川等改修事業	大幡川改修事業費	0	・大窪川及び第2大窪川において、用地測量、地質調査、設計及び護岸改修の整備を実施する。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から河川改修事業へ統合し、事業を実施する。	建設課
		大幡川改修事業費(繰越明許)	47,784				
13	河川改修事業	河川改修事業費	—	・実施予定無し。	見直しの上で実施	・事業内容を整理し、次期計画から大幡川等改修事業と統合し、事業を実施する。	建設課
14	水門・排水機場維持管理事業	水門・排水機場管理費	8,931	・水門や排水機場等の農業用施設の適正な維持管理を行う。 ・業務移管に向けて、産業課と調整を図る。	現状のまま継続	・農業用施設の適正な維持管理を行うとともに、必要に応じて施設の修繕を実施する。	建設課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 3 交 通 安 全 対 策

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
15	交通安全推進事業	交通安全推進費	5,963	・毎月発行している「交通安全情報」に町内で発生した重大事故の情報や県内の交通情勢等記事を掲載し、交通安全意識の高揚を図る。 ・町内交通事故発生マップを作成し、交通安全対策委員会等において自治会長をはじめとした推進団体に提供することで、交通安全意識の高揚を図る。 ・高齢者を対象とした交通安全教室を開催し、交通安全意識の高揚を図る。	見直しの上で実施	・牧之原警察署や交通安全協会等と交通安全広報・教室等を開催し、交通事故の減少に努める。 ・運転免許証の返納に伴う運転経歴証明書の発行手数料の補助を行う。 ・引き続き、町内の交通事故発生マップを作成し、町民に周知することで交通安全意識高揚を図る。 ・引き続き、高齢者を対象とした交通安全教室を開催し、交通安全意識の高揚を図る。	防災課
		交通指導員活動費	6,503				
16	交通安全対策事業	交通安全施設整備費	9,764	・「子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づいた合同点検で点検した危険箇所について、着実かつ効果的に子供を守る交通安全対策を推進するため、区画線の復旧及び転落防止柵の設置などの整備を実施する。	現状のまま継続	・パトロールや地元からの要望等に基づき、交通安全施設の整備を行う。 ・「子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づく安全対策を実施する。	建設課
17	防犯対策推進事業	防犯対策推進費	9,400	・毎月発行している「セーフティよしだ」に町内及び近隣市町の犯罪情報や社会的に問題となっている犯罪情報を掲載し、町民の防犯意識の高揚を図る。 ・青色防犯パトロールの講習会を開催し、実施者証の保有者を増やす。 ・警察から寄せられた不審者情報を町内で共有するとともに、青色防犯パトロールの実施回数を増やすことにより、防犯意識の高揚を図る。 ・青色防犯パトロールを手軽に実施できるよう、方法の見直しを行う。	現状のまま継続	・「セーフティよしだ」による防犯情報の周知及び青色防犯パトロール等の事業を実施し、犯罪件数の一層の減少に努める。 ・引き続き、地域の実情を把握している各自治会に防犯灯の整備業務を委託することにより、地域の防犯意識の向上を図るとともに、円滑かつ、効果的な維持管理を行う。 ・警察署、榑南防犯協会及び防犯推進団体と連携を図り、効果的かつ、効果的に防犯対策事業を進める。 ・通学路防犯カメラ補助金を各自治会へ活用するよう促し、犯罪の少ない町の実現に努める。	防災課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 4 く ら し 安 全

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度 of 取組状況	令和6年度 of 方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
18	消費生活啓発事業	消費生活費	45	・相談員とともに、関係機関と意見交換を行い、相談業務の質の向上を図る。 ・広報、回覧文書及びホームページによる啓発を行うとともに、消費生活相談員による消費生活相談の実施によって、被害の未然防止や早期解決を図る。	現状のまま継続	・消費生活相談員の雇用を継続し、町民からの多様化する相談ニーズに対応する。 ・関係団体と連携し、公共施設や町内イベント、団体の会合等で啓発する。	産業課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 5 消 防 ・ 救 急

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度 of 取組状況	令和6年度 of 方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
19	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	14,651	・過年度の起債残高の償還を計画的かつ適切に実行していくため、引き続き負担金を支出する。	現状のまま継続	・過年度の起債残高の償還を計画的に実行する。	防災課
20	消防救急広域事業	消防救急広域事業費	270,725	・住民が安全・安心に暮らせるため、消防・救急体制の維持を図る。	現状のまま継続	・広域化によるスケールメリットを持続的かつ最大限に生かし、住民の安全・安心に応える消防・救急体制の維持を目指す。	防災課
21	消防団運営事業	消防団運営費	26,328	・事業所に対し、消防団員の必要性及び事業税の優遇措置を周知し、新たな消防団員の確保につなげる。 ・消防救急広域化により常備消防との連携を強化し、地域全体における消防力の向上を図る。	現状のまま継続	・消防団、町内会及び行政が協力して新入団員確保に努めるとともに、消防団協力事業所表示制度を推進し、消防団員がより活動しやすい環境を整え、消防団員の増員を図る。 ・消防団協力事業所表示制度を推進するために、商工会等にチラシを配布し、制度の周知を図る。 ・引き続き、消防団の充実・強化を図ることにより、地域に密着した要員動員力と即時対応力の向上を図る。 ・各種災害に対応できるよう訓練及び講習会を行い、消防団員の技術及び知識の習得を図る。	防災課
22	消防団員福利厚生事業	消防団員福利厚生費	8,179	・消防団員に対する退職報償金の支給、福祉共済への加入、活動中の怪我に対する公務災害補償を行うことにより、消防団員の福利厚生の充実を図る。	現状のまま継続	・引き続き、消防団員に対する退職報償金の支給、福祉共済への加入、活動中の怪我に対する公務災害補償を継続することで、消防団員の福利厚生の充実を図る。なお、まとい会については、令和5年度にて活動終了。	防災課
23	消防施設整備事業	消防施設整備事業費	34,799	・発災時に、資機材が適切かつ確実に使用可能となるよう維持修繕を図る。	現状のまま継続	・引き続き、資機材及び装備品の計画的な整備を図る。	防災課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 1 健 康 づ く り

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
24	保健衛生管理事業	保健衛生管理費	6,746	・研修に参加し、出席者が得た知識を課内で共有することで、職員の資質向上を図っている。 ・保健センター施設の適切な維持管理のため、玄関屋上及び天井防水改修工事を行う。	現状のまま継続	・計画的な研修会への参加や定例の打合せを実施することで、専門職の資質の向上を図る。 ・保健センター施設の適切な維持管理、修繕を行い業務継続を図る。	健康づくり課
25	健康づくり事業	健康づくり事業費	809	・令和3年3月に策定した「健やかプラン吉田21(健康増進計画・食育推進計画)」に基づき、計画目標達成に向け健康づくり事業の促進を図る。	見直しの上で実施	・令和3年3月に策定した「健やかプラン吉田21(健康増進計画・食育推進計画)」の評価及び次期計画策定に向けた基礎資料とするための実態調査(アンケート方式)を実施する。	健康づくり課
26	健康増進事業	健康増進事業費	22,358	・国の補助金を活用し、乳がん検診を40歳、子宮頸がん検診を20歳の者に、がん検診推進事業(がん検診自己負担金が無料となるクーポン券の交付)を実施している。 ・肝炎ウイルス検診の受診率向上のため、引き続き、40歳から75歳までの5歳刻みの年齢に達する者で過去に検診を受けたことがない者に対し、自己負担の無償化を行う。 ・特定健診の結果、受診勧奨及び保健指導判定値者に対し、受診勧奨及び保健指導を実施し、精密検査未受診者の受診勧奨を実施する。また、企業と連携を図り、働き世代へ生活習慣改善について情報提供を実施する。	現状のまま継続	・検診や精密検査の受診率向上を図るため、効果的な個別勧奨の内容や方法について随時見直しを行う。 ・生活習慣病予防のため、適切な保健指導を実施できるようアプローチ方法等を検討し実施していく。	健康づくり課
27	感染症予防事業	感染症予防費	99,227	・接種対象者に対し、引き続き、予防接種や費用の助成に関する情報を新生児訪問等の母子保健事業内や広報、アプリ(よしにこダイアリー)等で周知することで、対象者が必要な予防接種を確実に接種できるよう対応している。 ・令和5年度から帯状疱疹予防接種費助成事業を開始している。 ・感染拡大防止検査費用助成事業は、事業執行を予定していたが、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へ移行したため、実施しないこととする。 ・引き続き、予防接種法関係省令等に基づき、新型コロナワクチン接種を計画的かつ安全に実施するとともに、今後の接種について医師に個別に説明を行っている。	見直しの上で実施	・接種対象者に対し、必要な予防接種の状況を正確かつ迅速に周知し、必要な時期に確実に接種を受けることができるよう対応する。 ・新生児訪問等の母子保健事業における対象者(又は対象者の保護者)と接触機会を活用し、未接種者や対象者に対する接種勧奨を実施し、接種率の向上を図る。 ・新型コロナワクチン接種については、定期接種として実施する。	健康づくり課 福祉課
		感染拡大防止検査費用助成事業費	1,043				
		新型コロナウイルスワクチン接種事業費	208,748				
28	母子保健事業	母子保健衛生費	64,584	・育児不安や経済的負担の軽減を図り、すべての世帯が安心して出産・子育てができるよう、「吉田町妊娠出産応援パッケージ助成事業」を拡充して町独自の施策として創設した「妊娠出産等応援助成金事業」と「伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的事業」を併せ、「よしにこ応援パッケージ事業」として開始している。	現状のまま継続	・各種健診、相談の受診率向上や事後フォローが必要な親子に対し、必要な支援方法等を随時見直しながら実施する。 ・よしにこ応援パッケージ事業を継続し、妊娠期から子育て期にわたる経済的支援及び切れ目ない相談支援を実施する。	健康づくり課
		妊娠・出産包括支援事業費	2,444				

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
29	食育推進事業	食育推進事業費	202	- 健康づくり友の会会員に対し、より効果的で自主的な活動ができるよう、町の健康課題や活動目的に合わせた献立や媒体などの情報提供を積極的に行う。 - 幅広い世代の町民に対して食に関する情報提供ができるよう、吉田町ホームページ、吉田町公式LINE、ラジオの媒体や健康づくり課事業などを活用して情報発信を行う。	現状のまま継続	町の栄養課題の解決のため、食育推進計画に基づいた食育事業を推進する。	健康づくり課

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 2 地 域 医 療

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
30	地域医療体制整備事業	地域医療対策事業費	0	- 吉田町診療所等開設補助金について、制度利用を検討している医師の相談に応じている。 - 地域医療をささえるはいなんの会の役員会に参加し、令和5年度の計画について検討し、支援を行っている。	現状のまま継続	- 地域医療体制の課題と解決策について、関係機関との協議等を継続して実施していく。また、課題解決に向けては、行政、関係機関、住民の3者が連携を図った上で、それぞれの役割分担を検討する。 - 吉田町診療所等開設補助金制度の更なる周知を図る。	健康づくり課
31	榛原総合病院組合事業(負担金)	榛原病院負担金	400,787	- 榛原総合病院組合規約第14条の規定により令和3年度に実施した事務の共同処理に係る経費の負担割合の見直しに基づいて事業を実施している。 - 見直し後の3か年の負担割合は、令和3年度から段階的に増えるようにして榛原総合病院組合負担金を支払い、最終年度となる令和6年度に再設定する。	現状のまま継続	- 負担金の継続により、通常医療のみでなく、地域の中核となる公設の病院として、夜間救急や災害時の救護病院として、あるいは、在宅医療を支援する病院として機能させる必要があるため、現状維持が必要である。 - 令和3年度に見直しした負担割合に基づき、榛原総合病院の運営に係る経費を支払う。	健康づくり課
32	救急医療体制整備事業	救急医療対策事業費	8,304	救急医療体制の周知や医療機関への正しいかかり方についての啓発を実施する。	現状のまま継続	- 志太榛原地域の救急医療体制を維持するとともに、関係市町で課題等について、協議を続け、より良い体制の整備に努める。 - 救急医療体制の周知や医療機関への正しいかかり方についての啓発を実施する。	健康づくり課
33	災害時医療救護対策事業	災害時医療救護対策事業費	178	- 医療救護計画、医療救護活動マニュアルについて、随時見直しを行い、災害時薬事コーディネーターと連携を図りながら、災害時の医薬品供給体制を検討し、計画等を整備していく。 - 関係機関の協力を得て、医療救護訓練を実施する。	現状のまま継続	- 救護所に必要な物品を見直し、整備を進める。 - 医療救護計画や災害時健康支援マニュアル等の内容を検討し、必要に応じて見直しを行う。 - 関係機関の協力を得て、医療救護訓練を実施する。	健康づくり課

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 3 地 域 福 祉

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
34	地域福祉推進事業(福祉総務事業)	福祉総務費	1,629	・複合的課題を抱える世帯の個別支援の充実を図るため、ワンストップ相談窓口をはじめ既存のケア会議等を活用し、多機関連携及び地域力強化に努める。 ・国の閣議決定に応じて、低所得世帯への給付金事業(吉田町非課税世帯生活支援特別給付金)を実施している。	現状のまま継続	・地域共生社会の実現を目指し、行政のみならず多様な事業体と協働し、生活保護世帯や生活困窮世帯を生み出さない支援体制を構築する。	福祉課
		住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業費(繰越明許)	53,577				
		電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費	81,327				
35	地域福祉推進事業(戦没者追悼事業)	戦没者追悼事業費	524	・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行ったうえで、令和5年10月6日に戦没者追悼式を開催予定。	現状のまま継続	・引き続き吉田町遺族会と連携し、継続して戦没者追悼式を実施する。	福祉課
36	地域福祉推進事業(地域福祉計画の策定)	地域福祉計画策定事業費	1,269	・「第4期地域福祉計画」の冊子を関係機関へ配付するとともに、町ホームページにも掲載し、広く地域福祉の普及啓発に取り組む。	現状のまま継続	・吉田町地域福祉推進委員会を開催し、定期的に地域福祉施策に係る進捗状況を点検し、当町の地域課題に即した福祉施策を検討する。	福祉課
37	地域福祉推進事業(社会福祉協議会)	社会福祉協議会補助金	37,778	・地域福祉の推進役を担う社会福祉協議会の運営及び福祉事業に要する経費に対して補助金を交付し、地域の実情に応じた住民の福祉の増進を図っている。	現状のまま継続	・社会福祉協議会が地域福祉の推進の中核的役割を担い、福祉活動の担い手の育成と関係機関との連携を図るため、引き続き補助金交付を行う。	福祉課
38	地域福祉推進事業(成年後見制度中核機関運営事業)	成年後見制度中核機関運営事業費	—	・令和5年度より社会福祉協議会に業務を委託している。現時点でケース会議(定例会議)の開催には至っていないが、家族・親族等からの相談対応や社協等関係機関との打合せは随時行っており、今後、会議の開催により、成年後見制度の利用につなげる。	現状のまま継続	・引き続き、社会福祉協議会に業務を委託し、成年後見制度を必要とする人の利用につなげられる体制を継続していく。	福祉課
39	地域福祉推進事業(民生委員・児童委員活動)	民生・児童委員活動費	6,509	・令和4年12月の一斉改選により民生委員児童委員と主任児童委員合わせて34人が新たに委嘱されていることから、定例会において研修や委員同士の情報交換の場を設け、新任の委員が活動しやすい環境づくりに取り組んでいる。 ・コロナ禍で中止していた県外視察の実施を検討している。	現状のまま継続	・引き続き、定例会等において、研修会や委員相互の情報交換の場を設け、経験年数の多少に関わらず、委員全員が適切な相談対応ができる体制を整えていく。	福祉課

第2章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野4 社会保障（国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護）

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
40	国民年金事務事業	国民年金事務費	581	・法定受託事務及び協力事務を、適切かつ確実に処理している。 ・障害年金等の年金相談については、パンフレット等を使い、分かりやすい説明を心掛けている。部門全体で年金制度に関する知識を深めるとともに、障害者手帳担当課や年金事務所との連携を図りながら、適切な案内ができるように努めている。	現状のまま継続	・法定受託事務及び協力事務を、適切かつ確実に処理する。 ・制度変更については、被保険者に対し、ホームページ等を活用しながら周知及び理解に努める。 ・収納率向上のため、年金事務所と連携体制の強化を図るとともに、口座振替やクレジットカード納付の利用勧奨を積極的に行う。	町民課
41	国民健康保険事業会計繰出金	国民健康保険事業会計繰出金	130,991	・国民健康保険事業を適正かつ円滑に行うため、基準内の繰出しを実施する。	現状のまま継続	・国民健康保険事務費に係る一般会計繰出しに要する費用については、国の動向(制度改革)に注視し、基準内の繰出しを実施する。	町民課
42	国民健康保険事業(特別会計)	総務費 保険給付費 国民健康保険事業費納付金 共同事業拠出金 財政安定化基金拠出金 保健事業費 基金積立金 諸支出金 予備費	12,237 1,792,556 780,789 0 0 26,754 63,347 19,764 0	・特定健診の受診率向上を図るため、AIを活用した情報分析により受診勧奨方法の工夫を行い、未受診者対策の強化を図りながら受診率を向上に努める。 ・マイナンバー連携による情報連携や年金ネットを積極的に活用することにより国保資格を管理し、国保税収納率の向上につなげる。 ・医療費の適正化を図るため、重複多受診防止、ジェネリック医薬品の推奨等を重点的に行う。特に、ジェネリック医薬品の推奨については、国の目標値(80%以上)を昨年度達成したが、常に達成するよう目指す。	現状のまま継続	・医療費抑制に向け、特定健康診査の受診率向上を図り、早期に疾病を発見し予防することを目指す。 ・生活習慣病予備群には特定保健指導を実施し、医療費の抑制につなげる。 ・医療費の適正化を図るため、重複多受診防止、ジェネリック医薬品の推奨(目標使用率:80%以上)等を引き続き行う。 ・インセンティブによる交付金事業(保険者努力支援事業)に対応するため、収納率の向上及び保健事業の強化を図る。 ・マイナンバーによる情報連携を推進し、更なる事務の効率化及び住民の利便性を図る。(マイナンバーカードによる保険者証利用や特定健診情報の共有等)	町民課
43	後期高齢者医療事業	後期高齢者医療事業事務費	319,880	・地域住民の医療を確保するため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、引き続き適正に事業を実施する。 ・県単位の後期高齢者医療広域連合が事業主体となっている制度であるが、町が担当する業務については、適正かつ効率的に事務処理を行う。 ・保険料未納者に納付勧奨及び自宅訪問を行い、収納率向上を図る。	現状のまま継続	・保険料の納付を含む制度の周知を図り、保険料の収納率向上に努める。 ・後期高齢者における健康診査受診率の向上に、引き続き努める。 ・高齢者の保健事業においては、国の指針に従い、介護予防事業等と連携し、関連各課と一体的に取り組む。(人件費等10/10補助、上限額の規定あり)	町民課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
44	後期高齢者医療事業 (特別会計)	後期高齢者医療広域連 合納付金	318,226	・地域住民の医療を確保するため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、適正に事業を実施する。	現状のまま継続	・後期高齢者医療制度は現行制度が継続されるため、今後も適正に事業を行う。 ・収納率向上のため、未納者への対応を継続して実施する。	町民課
		諸支出金	1,129				
		予備費	0				
45	介護保険会計繰出金	介護保険事業会計繰出 金	311,398	・介護保険制度に基づいた割合で繰出しを行い、第8期介護保険事業計画に沿って、事業を実施する。 ・低所得者保険料軽減制度に基づく負担割合における繰り出しを行う。 ・第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の計画期間が令和3～5年度のため、今年度、次期計画を策定する。	現状のまま継続	・第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画に基づき、介護保険制度に基づいた割合で繰出しを行う。	福祉課
46	介護保険事業(特別会 計)	総務費	37,877	・被保険者の資格管理及び保険給付の適正かつ効率的な運用を図る。 ・高齢者等がフレイル状態にならないよう、各事業を実施している。 ・介護保険料の納付促進を図るため、口座振替の推進、催告書送付や電話催告等を実施する。	現状のまま継続	・第9次高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、事業を実施する。	福祉課
		保険給付費	1,840,414				
		基金積立金	47,073				
		地域支援事業費	124,871				
		保健福祉事業費	1,963				
		諸支出金	60,169				
		予備費	0				
47	低所得者利用者負担 額軽減措置事業	低所得者利用者負担額 軽減措置事業費	110	・社会福祉法人等による利用者負担軽減制度に基づき、事業を実施する。	現状のまま継続	・介護保険制度に基づく事業であり、低所得者の負担軽減を図るため、現状のまま継続する。	福祉課
48	生活保護事業(生活保 護費)	生活保護費	0	・行旅人及びホームレス等への旅費、終末期支援等を引き続き行う。	現状のまま継続	・生活困窮者等に対する突発的な資金援助を行う。 ・生活保護制度の利用に至らぬように、生活保護実施機関である静岡県並びに生活困窮者自立支援機関である社会福祉協議会と連携し、生活困窮者等におけるセーフティネットの強化を図る。	福祉課

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 5 子 育 て 支 援

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
49	地域子育て支援拠点事業	地域子育て支援拠点事業費	910	・保健センターや児童館と相互に連携をし、利用者に支援センターの周知を図る。 ・親子が興味を持てるようなイベントを企画し、子育て支援センター利用のきっかけ作りを行い、利用者増加を目指す。 ・支援センター自体が居心地の良い場所となるように人的・物的環境を整える。	現状のまま継続	・利用者の年齢やニーズを的確に捉え、各種事業を充実させるとともに、事業に対する広報の強化を図る。 ・事業数や実施場所の工夫をし、子育て支援センター利用者数の増加に努める。	こども未来課
50	吉田町次世代育成支援(児童手当事業)	児童手当費	446,402	・定期的な事務処理を行い、児童手当受給者へ児童手当支給事務を実施する。 ・児童手当の定期払時、「広報よしだ」に加えてホームページ、吉田町公式LINEに掲載し、周知を図る。 ・児童手当の現況届について、郵送での提出を受付した。 ・児童手当の制度改正の再周知のため、ホームページや吉田町公式LINEに掲載した。	見直しの上で実施	・児童手当法に基づき、適切に事務処理を行い事業を推進する。 ・令和5年6月13日に策定された「こども未来戦略方針」により、令和6年10月から「①児童手当の所得制限の撤廃」、「②支給を高校生年代まで延長」、「③第3子以降にすべて月3万円給付」という方針が発表された。制度施行が決定次第、対象児童数の把握や予算確保、システム改正など、早急を実施する。	こども未来課
51	こども医療費助成事業	こども医療費助成事業費	121,431	・助成対象年齢を満18歳に達した後最初の3月31日までとし、県補助対象外である自己負担金についても単独で補助を行い、適切な事務処理を行うことで医療費助成を行う。	現状のまま継続	・静岡県こども医療費助成事業費補助金交付要綱及び吉田町こども医療費助成要綱に基づき、適切に事務処理を行い事業を推進する。	こども未来課
52	児童福祉事業	児童福祉費 ファミリー・サポート事業費 子育て世帯生活支援特別給付金事務費(ひとり親世帯分) 子育て世帯生活支援特別給付金事業費(ひとり親世帯以外分) 吉田町子育て世帯特別給付金支給事業費	10,303 364 44 10,209 115,226	・ファミリー・サポート・センターの周知等を行った結果、会員数が増加しているため、引き続き会員の増員(令和5年4月1日現在で、サポート会員25人、リクエスト会員109人、両方会員4人の合計138人)に努める。	現状のまま継続	・ファミリー・サポート・センターの周知により、引き続き会員数や利用実績の増加を図る。 ・次期子ども・子育て支援事業計画の策定を行う。 ・新たなこども計画の策定に向けて検討を行う。	こども未来課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
53	保育園管理運営事業	保育園管理費	300,656	・新型コロナウイルス感染症が5類に移行した5月以降も新型コロナウイルス感染症に限らずその他感染症の拡大防止対策を実施しつつ、保育業務を行っている。 ・待機児童を出さないために、保育士確保に努め、保育業務の安定を図っている。また、民間の小規模保育施設3園が予定通り開所し、運営が始まったため、低年齢児の受け皿として保育ニーズに対応できている。 ・育休復帰時の保護者の軽減として、ならし保育の制度を見直し、復帰月の前月から児童を預かることができる制度構築を検討している。 ・分かりやすい保育関係事務の実施のため、引き続き、各種資料を見直し、マニュアルの整備等を行う。 ・幼児教育・保育の無償化に関する給付費をこども未来課保育園管理費に集約した。 ・わかば保育園の用地買収を目指し、地権者と用地交渉を行っている。	見直しの上で実施	・小規模保育事業所3園が新規開所したため、町内の小規模保育事業所間の橋渡しができるように町で小規模保育事業所を対象に情報交換会等を実施する。 ・多様な保育サービスのニーズに応えるため、保育士・給食員等を積極的に確保する。また、業務の一部を委託する等、民間の力を活用し保育の質の向上を図る。 ・引き続き、新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、保育業務を行う。 ・無償化事務だけでなく、保育所入所等に関する事務及び幼児教育・保育の無償化に関する事務全般について、見直しを行う。 ・保育士の業務改善のため、保育園への保育システム導入を検討する。 ・利用者負担額(保育料)等の未納対策を行う。	こども未来課
		さくら保育園運営費	19,087				
		すみれ保育園運営費	27,364				
		さゆり保育園運営費	19,362				
		わかば保育園運営費	22,563				
54	児童館運営事業	児童館運営費	6,142	・児童館から離れた場所に住む児童も利用できるよう「移動児童館」を引き続き計画し、北オアシスパーク、住吉会館又は山八公会堂で毎月1回ずつ(8月を除く)実施する。 ・参加したくなるような講座等を企画し、じどうかんだより、ホームページ、ポスター等により各種事業やイベントの周知を行っている。 ・夏まつりなど、これまでコロナ禍で実施できなかったイベントの実施を予定している。	現状のまま継続	・児童館運営委員会を開催し、児童館のより良い運営のため、意見を収集し協議を行う。 ・利用者のニーズを的確に把握するためにアンケート等実施し、イベントや事業内容、回数等を検討する。 ・児童館に関する研究調査や助成金などの活用の可能性を検討する。	こども未来課
55	児童厚生施設整備事業	児童厚生施設整備費	191	・遊具の定期点検を実施し、必要に応じて修繕を行う。 ・樹木の伐採、草刈り等については、快適な環境整備のため、各町内会等と協力して実施し、都市環境課にも作業依頼し、実施予定。	現状のまま継続	・児童遊園地の維持管理を行い、地域の子ども達に安全で快適な遊びの場を提供する。 ・既設の遊具は、定期点検の結果を基に、必要に応じて修繕を実施する。	こども未来課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実行状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
56	児童発達支援事業	子ども発達支援事業費	6,875	・子育て支援及び保護者支援のため、引き続き、事業(定期通園・並行通園・親子通園・相談支援/園訪問)を継続している。 ・前年度、達成出来なかったすみれ保育園との交流計画を立て、互いの施設を行き来出来るように、保育園の職員にも交流しやすい雰囲気を作っている。 ・相談支援事業所COCOサポートが出来たことで、タイムリーな相談業務を実施している。 ・年間の園内研修の計画を立て、初めて療育に携わる職員にも分かりやすい研修を実施している。 ・多様化する療育課題に対応できる体制の構築について、関係機関と協議を行う。	現状のまま継続	・保護者が安心して子育てし、児童一人ひとりが健やかに育つために、引き続き事業を継続する。 ・関係機関と情報共有しながら、不安を抱えている家庭や、支援が必要な児童を療育に繋げていくため、様々な相談を気軽に出来るような支援体制を検討する。 ・きめ細かな療育を実現していくために、職員の質の向上を図りながら関係機関との連携を図る。 ・職員(会計年度任用職員)の定着を図るため、事務の簡素化を検討し、働きやすい環境を構築する。 ・町民のニーズにあった、今後の事業所のあり方を検討する。 ・多様化する療育課題に対応できる体制の整備を図る。	こども未来課
57	子ども会育成連合会助成事業	子ども会育成連合会助成事業費	320	・ドッチボール大会に代わる新しいイベントを実施予定。	現状のまま継続	・次世代を担う児童の心身ともに健全で健やかな育成を支援するため、適切に補助金を支給する。	こども未来課
58	放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業費	19,066	・通級教室や支援学級に通う児童、または診断を受けていないが様々な特性を持つ児童への対応が必要となっていることから、支援員の確保、支援員の資質向上のために研修会等へ積極的に参加し、より安全な放課後児童クラブの運営に努めている。 ・新型コロナウイルスが5類へと移行したが、児童クラブ室の衛生管理、感染症防止対策の観点から消毒液等を利用し、感染防止対策に努めている。	現状のまま継続	・放課後児童クラブの運営を円滑に行う。 ・利用者が待機することなく、安全に利用させる。 ・支援員の確保及び資質の向上を図る。 ・放課後児童クラブの業務委託に向け、検討する。	こども未来課
59	児童虐待防止事業	児童虐待防止事業費	288	・虐待をはじめとする課題を抱える子どもと家庭の相談体制を整え、問題の発生予防、早期発見、早期対応、重症化や再発防止を図り、子どもたちが健やかにいきいきと育つことができるよう関係機関とも連携した相談窓口である子ども家庭総合支援拠点の強化に努める。	現状のまま継続	・令和6年4月1日から施行する児童福祉法等の一部改正に向けて、児童相談の体制強化を検討する。	こども未来課
60	ひとり親家庭対策事業	ひとり親家庭対策事業費	3,715	・ひとり親家庭等医療費助成金受給者証更新・申請について、対象者へ個別通知により申請を促している。 ・ひとり親の放課後児童クラブ利用者のため、児童扶養手当受給者への利用料減免を継続して行っている。	現状のまま継続	・ひとり親家庭の日常生活及び経済的安定を図るため、相談事業と協働し自立に向けた支援を行う。 ・児童扶養手当及びひとり親家庭等医療費助成は、国や県の施策に基づく事業であるため、適正な事務処理に努める。 ・制度の変更に随時対応し、県と調整しながら適正な事務処理に努める。	こども未来課

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 6 高 齢 者 福 祉

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
61	高齢者福祉推進事業	高齢者見守り体制整備事業費	0	・在宅福祉サービスについて、ホームページ等を活用し、対象者や関係機関への周知啓発に努める。 ・「高齢者の生活と意識に関する調査」の結果に基づき、次期計画となる第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画の策定を行う。	現状のまま継続	・第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画に基づき事業を執行する。 ・高齢者見守りネットワーク事業については、今後も協力事業所の増加を図り、見守り方法の改善等により見守り体制強化に努める。	福祉課
		ひとり暮らし高齢者等対策事業費	127				
		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費	1,606				
62	高齢者社会参加推進事業	高齢者社会参加推進事業費	9,392	・就業機会の提供を推進するため、シルバー人材センターに対し、必要な経費を補助していく。 ・さわやかクラブが実施している高齢者の生きがいと健康増進、地域社会のための事業等に対して補助金の交付を継続する。	現状のまま継続	・高齢者の就業機会の提供を推進するため、シルバー人材センターへの補助金交付による支援を継続する。 ・高齢者の地域活動の推進と福祉の向上に資するため、さわやかクラブへの補助金交付による支援を継続する。	福祉課
63	高齢者福祉事業	福祉介護手当支給事業費	1,180	・敬老事業については、記念品贈呈対象者を昨年同様80歳、85歳、90歳以上としているが、手法の見直しを検討する。 ・介護の入門的研修については、広報よした、チラシの全戸配布、吉田町公式LINEに加え、QRコードを活用し、対象者の募集を行う。	見直しの上で実施	・効果的かつ継続的に事業を展開していくために、敬老事業の記念品の内容や在宅支援生活品助成の品目等の見直しを行い、事業を実施する。 ・引き続き、介護の入門的研修について広く広報し、対象者の募集を行う。	福祉課
		老人福祉対策費	954				
		敬老事業費	1,903				
		老人保護措置費	6,885				
64	高齢者福祉施設管理事業	社会福祉施設管理事業費	53,839	・5つの施設について、法人と指定管理者年度協定書を締結し、管理を実施している。	現状のまま継続	・施設の管理運営について、指定管理者制度を継続し、実施する。 ・施設の修繕については、優先順位等を考慮して計画的に行う。	福祉課

第 2 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 7 障 害 者 福 祉

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
65	障害者自立支援施設管理事業	障害者自立支援施設管理事業費	3,533	・大雨時の被害防止のため、施設用の土のうを配備した。 ・令和5年7月24日にあつまりーナ運営委員会を開催予定。	現状のまま継続	・現状の委託契約及び福祉サービスについて精査し、あつまりーナにおける障害福祉施策が向上するよう取り組みの強化に努める。	福祉課
66	障害者自立支援事業	心身障害者自立支援事業費	629,177	・吉田町障害者(児)福祉推進委員会の各部会を開催し、地域課題の抽出を行い、地域の支援者との連携体制の構築を図っている。 ・第7期吉田町障害福祉計画第3期吉田町障害児福祉計画(令和6年度～令和8年度)の策定に取り組んでいる。	現状のまま継続	・障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、引き続き事業を実施する。 ・第7期吉田町障害福祉計画第3期吉田町障害児福祉計画(令和6年度～令和8年度)に基づき、福祉サービスの提供体制を整備する。	福祉課
		地域生活支援事業費	39,852				

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
67	障害者在宅福祉事業	心身障害者施設等負担金	18,883	・駿遠学園管理組合及び「つくしの家」を運営している牧之原市へ負担金を支出することにより障害者施設の運営支援を図り、サービスを必要とする障害児を計画的・継続的に支援する。	見直しの上で実施	・障害児の支援体制を確保するため、駿遠学園管理組合及び牧之原市に対して引き続き負担金を支出する。	福祉課
68	障害者更生援護事業	心身障害者福祉費	1,366	・障害者相談員に相談業務を委託(R5.4.1～R7.3.31)し、相談会を開催している。 ・重度障害者医療費助成や移送費の助成が必要な人に対して、適切な助成を行っている。 ・重度障害者医療費助成システム導入に向けた調査・検討を行う。	見直しの上で実施	・助成を必要とするすべての人が本制度を理解できるよう、制度の周知を広く行う。 ・重度障害者医療費助成の事務に係るシステム化に取り組み、事務の効率化を図る。	福祉課
		心身障害者更生援護費	44,803				

第3章 活力あふれる産業振興のまちづくり

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 1 農 業

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
69	農業総務事業	農業総務費	1,139	・積極的にWEB研修等に参加し、情報共有や情報交換を行い地域農政の一助につなげる。	現状のまま継続	・研修会等へ参加し、知識の習得や情報交換等を通じて、近隣市町との協力関係を継続する。 ・気象災害を被った農作物の損害を補償する農業共済制度に加入する農家の掛金の一部を町が負担することにより、農家の負担軽減を図るとともに継続して制度運営の円滑化に取り組む。	産業課
70	農業委員会運営事業	農業委員会運営費	3,340	・農業委員会等に関する法律及び農地法等に基づく審議をするため、定期総会を開催している。 ・農業委員・農地利用最適化推進委員の改選を実施する。 ・農業者年金制度の周知、相談等による加入推進を図り、1人が加入した。	現状のまま継続	・農業委員・農地利用最適化推進委員の積極的な活動支援を行う。 ・農業委員・農地利用最適化推進委員と連携し、農地流動化(利用集積)を促進する。 ・農地法等の厳正な事務執行にあたり、農地流動化の推進や意欲ある担い手の育成・確保に取り組み、農業全般にわたる諸問題を解決するように努める。 ・若手農業者、認定農業者を中心に農業者年金加入推進活動を行う。 ・農家台帳のデータを国の共通システムである農業委員会サポートシステムへ移行する。	産業課
		農業者年金事務費	180				
71	農業振興事業	農業振興費	5,587	・農業等の多面的機能を発揮させるため、引き続き片岡西中生会農業支援部が行う農用地及び水利施設の維持管理活動を支援している。 ・コロナ禍で中止していた活動の再開に向け、各団体等へ支援を行う。	現状のまま継続	・引き続き、農業団体等への支援を行うことにより、地域農業の振興に寄与する。	産業課
72	農業経営所得安定対策推進事業	農業経営所得安定対策推進事業費	1,714	・電子申請が可能になったことの周知活動を行っている。 ・農家の農業経営の安定に寄与するため、対象者に制度の説明や申請方法についての説明を行う。	現状のまま継続	・引き続き、申請対象者及び電子申請の利用者に対して、ホームページや通知等により広報活動を行う。	産業課
73	畜産事業	畜産業費	24	・引き続き、中部家畜保健衛生所と連携して生後40～60日の豚への豚熱予防接種を隔週で実施する。	現状のまま継続	・蔓延防止を図るため、予防接種や畜産農家への指導等を行う。	産業課
74	担い手育成総合対策事業	担い手育成総合対策事業費	8,651	・新規就農者1人を町の認定新規就農者に認定した。 ・認定新規就農者へ農業経営の支援を行っている。 ・川尻地区の地域計画を作成する。	現状のまま継続	・認定農業者等への集積・集約化を支援する。 ・安定した農業経営を維持するため、引き続き認定新規就農者を支援する。 ・地域での協議(農業従事者、農業関係団体)を踏まえ、地域計画を3地区作成する。	産業課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実行状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
75	土地改良事業	土地改良事業費	34,312	・本町の基幹水利施設である大井川用水が安定的に供給されるよう、大井川土地改良区や近隣市町と情報を共有しながら施設の維持管理に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、土地改良区への賦課金助成金や国営大井川農業水利事業(第1期、H11～H21、同事業(第2期、H13～H29)に伴う償還金を支払う。 ・農業水利施設は農業生産基盤の中核施設であると共に、環境、防災、国土保全等の多面的機能を果たす公共性・公益性の高い施設であり、今後も安定的な用水の供給や施設機能の適正な管理を図る。	産業課
76	用水路補修・維持事業	用水路改良維持修繕費	10,833	・山崎頭首工の復旧に向けて、関係機関との協議及び補修工事の発注準備を進めている。 ・山崎頭首工の代替措置として神戸川にポンプを設置し、農業用水の確保を行った。 ・用水路の浚渫を実施した。 ・せぎ板等の用水資材の提供を行った。	現状のまま継続	・山崎頭首工の復旧にかかる補修工事を完了する。 ・引き続き、用水路の維持管理を行う。 ・山崎頭首工の復旧までの間は、引き続き、神戸川にポンプを設置して農業用水を確保する。	建設課
77	用水路改修事業	用水路改修事業費	—	・実施予定無し。	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和6年度は休止とする。	建設課
78	荒廃農地再生事業	荒廃農地再生事業費	78	・荒廃農地解消アクションプランを策定し、農地パトロールを実施することにより、荒廃農地の解消に取り組んでいる。	現状のまま継続	・荒廃農地の解消及び発生防止のため、引き続き担い手へのあつせんや補助制度の広報及び活用に取り組む。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 2 水 産 業

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実行状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
79	水産振興事業	水産振興費	1,261	・新型コロナウイルス感染症5類への移行により、山梨・長野方面へのプロモーションも含めて積極的にイベント出展を目指していく。また、キーワードラリーのPR方法の見直しを検討するほか、ホームページの随時更新、Twitterによる情報発信などによりPR活動を行う。	見直しの上で実施	・4市1町(静岡市、焼津市、牧之原市、御前崎市、吉田町)の連携を更に強化し、それぞれの持つ長所を活かしながら駿河湾水産振興協議会事業を実施することで、当町の水産物を県内外にPRし、効果的に水産振興を図る。 ・令和6年度も水産業の振興と活性化を図るため、水産業振興事業を実施する水産関係団体等に対し、補助金を交付する。 ・負担金による事業を実施することにより、漁場環境の維持・改善や小学生等への啓発が図られており、今後も継続的に事業を進め水産資源を確保する。 ・事業内容を整理し、次期計画から地域栽培推進事業と統合する。	産業課
80	地域栽培推進事業	地域栽培推進事業費	456	・榛南地域栽培漁業推進協議会に対しては、支援の継続により、漁場環境の向上や資源の確保等を図っている。 ・水産多面的機能発揮対策事業については、藻場の維持、管理を円滑に行うため、協定書に基づき事業を実施する。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から水産振興事業へ統合する。	産業課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
81	漁港管理事業	漁港管理費	19,485	・漁港漁場整備法及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携を図りながら、吉田漁港の適正な維持管理を実施している。	現状のまま継続	・引き続き、漁港漁場整備法及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携し、吉田漁港の適正な維持管理に努める。	産業課
82	水産基盤整備事業	水産物供給基盤機能保全事業費	48,000	・令和4年度に引き続き、県支出金を活用しながら漁港環境整備事業を実施し、町民の安全安心を確保するため早期完成に努める。 ・機能保全計画に基づき、港内の浚渫工事を実施する。	見直しの上で実施	・多目的広場の整備については、令和5年度で概成したところではあるが、令和6年度で残事業を実施し完成に努める。 ・機能保全事業については、業務委託により漁港施設の現況調査を実施し、長寿命化計画の見直しを図ることで最適な補修時期を検討し、次年度以降の工事計画を策定するとともに、浚渫工事は継続実施し、漁港環境の向上に努める。 ・事業内容を整理し、次期計画から小規模局部改良事業と統合する。	産業課
		漁港環境整備事業費	62,846				
		漁港施設機能強化事業費	—				
83	小規模局部改良事業	小規模局部改良事業費	—	・緊急を要する安全施設の整備については、平成28年度事業で完了しているため、漁港内の点検を通して状況把握に努めるとともに、南駿河湾漁業協同組合吉田支所との協議により、必要な漁港施設の整備の検討を行う。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から水産基盤整備事業へ統合する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 3 商 工 業

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
84	商工業振興事業	商工業振興費	77,921	・商工業振興事業費補助金交付要綱に基づき、商工会に補助金を交付することにより、商工業の活性化を図る。	見直しの上で実施	・小規模事業者の経営安定と振興を図るため、補助金要綱に基づき、商工会が行う経営改善普及事業を支援し、補助金支出を継続する。 ・事業内容を整理し、次期計画から中小企業振興事業と統合する。	産業課
85	中小企業振興事業	中小企業振興費	604	・設備投資等の資金調達の円滑化を図るため、要綱に基づき利子助成等を行っている。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から商工業振興事業へ統合する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 4 観 光

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
86	観光振興事業	観光振興費	31,411	・令和5年度は新型コロナウイルス感染症による制約が無くなることから、吉田町の三大まつりや各種イベントの開催について観光協会や関係機関と連携して実施する。	見直しの上で実施	・引き続き、形骸化している既存イベントについて観光協会や関係機関と連携して、より誘客が望める形にしていく。また、老朽化している観光施設について計画的な修繕を行うとともに展望台小山城周辺の賑わいづくりについて検討する。 ・事業内容を整理し、次期計画から観光PR事業と統合する。	産業課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実行状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
87	観光PR事業	観光PR事業費	1,567	・令和5年度は新型コロナウイルス感染症による制約が無くなることから、吉田町をPRする機会や方法を検討し効果的な誘客を行う。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から観光振興事業へ統合する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 5 新 産 業

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実行状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
88	産業支援事業	産業支援事業費	4,961	・産業振興事業費補助金や吉田町創業支援ネットワークを周知し、創業者の支援を行う。 ・創業応援セミナーについては、よしサボ事業を展開する吉田町まちづくり公社へ委託し、実施する。	現状のまま継続	・吉田町創業支援ネットワークを周知するとともに、関係機関と協力し、創業支援事業に取り組む。 ・創業支援センターの利活用を推進し、創業を目指す方々を多面的に支援する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 6 企 業 誘 致

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実行状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
89	企業立地振興事業	企業立地振興費	204	・用地情報の提供による引合案件の増加につなげるため、前年度に引き続き遊休地情報の収集及び整理に取り組む。 ・企業立地促進事業費補助金制度は、当町へ企業が立地を決める際の目安となっているため、交付要綱に基づき迅速に処理を進める。	現状のまま継続	・町内への企業立地を促進させるため、効果的な手法による企業誘致情報の発信や企業立地支援体制の強化を図るなどの積極的な企業誘致活動を実施する。	産業課

第 3 章 活 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 7 雇 用 ・ 就 業 対 策

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実行状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
90	労働福祉事業	労働福祉費	2,552	・勤労者の余暇や健康増進活動等の福利厚生の実施を図り、安定した労働力を確保するため、補助金要綱に基づき適正に事業を進めている。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から雇用対策事業へ統合する。	産業課
91	雇用対策事業	雇用対策費	402	・有能な技能労働者を養成し建築技術者を育成するため、補助金要綱に基づき適正に事業を進めている。 ・求人情報冊子の配布終了に伴い、公職職業安定所によるインターネットサービスの利用案内を行っている。 ・合同企業説明会の開催時期等を連携機関と検討し開催する。	見直しの上で実施	・引き続き、補助金要綱に基づき榛南職業訓練協会を支援し、職業人として有為な労働者の養成を図る。 ・公共職業安定所と連携を強化し、就業促進を図る。 ・インターンシップ受入先企業の開拓や高校・大学等と地域間の交流を促進することにより、当町への雇用創出及び若者定着を図る。 ・事業内容を整理し、次期計画から労働福祉事業と統合する。	産業課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり

第 4 章 魅 力 あ ふ れ る 多 様 な 交 流 を 生 む ま ち づ く り 分 野 1 土 地 利 用

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
92	国土利用計画(吉田町計画)策定事業	国土利用計画事業費	3,816	- 令和4年度に実施した吉田町国土利用計画策定支援業務を基に、引き続き、計画策定を実施する。 - 第4次吉田町国土利用計画素案について、地域づくり推進委員会及び吉田町総合計画等審議会において意見聴取し、6月中に静岡県との協議を実施予定。 - 年内にパブリックコメントを実施し、3月末までに第4次吉田町国土利用計画を策定する。	現状のまま継続	・第4次吉田町国土利用計画に基づき、適正な土地利用を行う。	企画課
93	土地利用及び開発行為関連事業	都市計画総務費	315	- 引き続き、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、吉田町都市計画マスタープランに即した都市づくりを進める。また、次期吉田町都市計画マスタープランの策定に向け、社会情勢を的確に把握するとともに、情報収集等を進める。 - 東名吉田インターチェンジ周辺地域をはじめ、町全体の土地利用について検討を行う。	見直しの上で実施	- 都市計画法に基づく開発許可制度及び町の土地利用事業承認制度が設けられてから30年以上が経過し、初期に開発された宅地分譲地等の調整池及び緑地広場の金属フェンス等の経年劣化が進み、住民の安全のため適切に修繕を行う必要が生じている。また、樹木の繁茂もみられ、住民の快適な住環境を創出するため引き続き、適正な維持管理に努める。 - 東名吉田インターチェンジ周辺の都市計画の誘導施策について、県都市計画担当部局、庁舎内関係課及び町農業委員会など関係機関との協議を進め、今後の方策を検討し、推進する。 - 現行の吉田町都市計画マスタープランの計画期間は、令和7年度までとなっており、引き続きマスタープランに即した都市づくりを進めるとともに、次期計画の策定に向けた情報収集等を行う。 - 事業内容を整理し、次期計画から土地利用及び開発行為関連事業(空き家対策事業分を除く)と都市計画マスタープラン策定事業を統合し、実施計画事業名を都市計画総務事業とする。	都市環境課
		土地利用対策費	2,022	- 土地利用事業については、引き続き、健全な開発の誘導のため適切な指導及び誘導を行っている。 - 新たに報告のあった空家については、所有者に対し通知を発送し、適切な管理及び空家の周知を行っているが、緊急を要する空家1軒については、地元からの要望に基づき解体を実施した。			
94	都市計画マスタープラン策定事業	都市計画マスタープラン策定事業費	—	- 平成21年2月に策定し、平成30年3月に変更した吉田町都市計画マスタープランに即した都市づくりを進めている。 - 引き続き都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、吉田町都市計画マスタープランに即した都市づくりを進める。また、次期吉田町都市計画マスタープランの策定に向け、社会情勢を的確に把握するとともに、情報収集等を進める。	廃止	事業内容を整理し、次期計画から土地利用及び開発行為関連事業(空き家対策事業分を除く)と都市計画マスタープラン策定事業を統合し、実施計画事業名を都市計画総務事業とする。	都市環境課

第 4 章 魅 力 あ ふ れ る 多 様 な 交 流 を 生 む ま ち づ く り 分 野 2 住 環 境

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
95	建築確認事務事業	建築確認事務費	1,123	・静岡県事務処理の特例に関する条例に基づき適正に事務処理を行う。	現状のまま継続	・引き続き、静岡県事務処理の特例に関する条例に基づく事務について、県の事務処理手引きに基づき円滑に処理する。	都市環境課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
96	花のまち推進事業	花のまち推進事業費	1,601	・花街道事業については、里親の協力により、引き続き幹線道路の花の維持・管理に努める。 ・吉田町花いっぱい活動補助金については、既存の補助金交付団体へ引き続き補助金を交付するとともに、新たな管理団体や花に興味のある方々に補助金の説明を行う。	現状のまま継続	・花街道事業については、企業や若年層など新たな里親の発掘に努める ・吉田町花いっぱい活動補助金については、引き続き既存団体への補助金交付や新規団体の発掘により、町民が花に囲まれたやさしい空間の中でゆとるある心を持って生活できる環境を創出する。	都市環境課
97	土地区画整理事業	土地区画整理事業費	54,364	・引き続き、公共施設等の整備を行い住環境の改善を図る。 ・富士見土地区画整理事業については、公共管理者負担金の活用により借入金を完済した。 ・浜田土地区画整理事業については、企業誘致において有利となるよう、土地の活用を行いやすくなるための公共施設の配置換えについて、組合と検討する。	見直しの上で実施	・都市機能の充実した安全で安心な生活環境を確保するために、事業計画に沿った段階的なまちづくりを推進する。 ・シーガーデシティ構想に基づいた保留地処分を進めることにより、定住の促進につなげる。 ・事業内容を整理し、次期計画から西の宮雨水幹線整備事業及び支線成因寺川整備事業と統合する。	都市環境課
98	西の宮雨水幹線整備事業	西の宮雨水幹線整備事業費	39,622	・引き続き、静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業の補助金を活用し西の宮雨水幹線を整備を進める。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から支線成因寺川整備事業とともに土地区画整理事業へ統合する。	都市環境課
99	支線成因寺川整備事業	支線成因寺川整備事業費	—	・事業予定なし	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から西の宮雨水幹線整備事業とともに土地区画整理事業へ統合する。	都市環境課
100	町営住宅維持管理事業	町営住宅維持管理費	17,599	・入居者が安心して生活できる住環境を確保するよう維持・修繕を実施している。 ・令和4年度に策定した「吉田町公営住宅等長寿命化計画(計画期間:令和5年度から令和15年度まで)」に基づき、長寿命化を図るための修繕・改善等を実施する。	現状のまま継続	・令和4年度に策定した「吉田町公営住宅等長寿命化計画(計画期間:令和5年度から令和15年度まで)」に基づき、長寿命化対策を図る。 ・松下団地については、引き続き空き状況を見ながら居住性改善工事を実施する。	都市環境課

第 4 章 魅 力 あ ふ れ る 多 様 な 交 流 を 生 む ま ち づ く り 分 野 3 公 園 ・ 緑 地 ・ 水 辺

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
101	空き家対策事業	空き家対策事業費	—	・新たに把握した空き家については、所有者に対し通知を送付し、適切な管理や県などで実施している空家相談会の周知を行っている。また、空家台帳に掲載している空き家で緊急を要する1件については、地元からの要望に基づき解体を実施した。 ・静岡県司法書士会と「吉田町における空き家等対策の推進に関する協定」を締結予定。 ・(仮称)吉田町空家等対策委員会の設置について検討する。	現状のまま継続	・引き続き、空き家の所有者に対して、適切な管理の依頼や空家相談会の周知により、良好な住環境の維持に努める。	都市環境課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
102	緑化推進事業	緑化推進費	3,421	・第31回吉田町みどりのオアシスまつりは、昨年度の記念イベントで好評であったワークショップなどを引き続き実施し、さらに新たなイベントとして環境教室を開催し、環境への意識向上を図るなど充実した内容でイベントを実施した。 ・新築家庭苗木配布事業により、令和4年に住宅を建築した者に対して樹木苗木の配布を行った。 ・小山城まつり(11月)では、家庭における緑化啓発を目的として、吉田町花の会と連携し花苗等啓発物資の配布を行うことで、直接的に家庭レベルでの植栽活動を推進する予定である。	現状のまま継続	・吉田町緑のオアシス条例に基づき、引き続き緑化意識の普及に努める。また、緑豊かなまちづくりをさらに促進するため、引き続き緑化イベントがより魅力あるものとなり、多くの来場者が訪れるよう今後も事業内容を充実させ、イベントを実施する。	都市環境課
103	公園維持管理事業	公園維持管理費	39,245	・公園を安全に利用できるよう、施設や遊具等の点検を早期に行い、状況把握に努めている。 ・公園を快適に利用できるよう、樹木等の管理業務範囲を拡充して対応している。	見直しの上で実施	・公園を安全に利用できるよう、施設や遊具等の点検を行い、計画的に修繕等を実施する。 ・公園を快適に利用できるよう、管理業務委託範囲などを見直しながら管理を行う。 ・事業内容を整理し、次期計画から都市公園愛護活動事業と統合する。	建設課
104	都市公園愛護活動事業	公園愛護会支援事業費	240	・公園愛護活動を行う団体に対して、報償金を交付し、愛護会と連携を図ることで、より適正な施設管理に努めている。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から公園維持管理事業へ統合する。	建設課
105	公園整備事業	公園整備事業費	—	・実施予定無し。	見直しの上で実施	・シーガーデン川尻海岸の整備進捗が図られるよう、関係部局と調整する。 ・令和7年度から能満寺山公園の駐車場整備に着手できるよう事業計画を検討する。	建設課
106	松くい虫防除事業	松くい虫防除事業費	3,909	・保安林が公益的機能を発揮できるよう、引き続き薬剤散布及び予防伐倒を実施し、松枯れ防止に努めている。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から保安林等保護環境整備事業へ統合する。	産業課
107	保安林等保護環境整備事業	保安林等保護環境整備事業費	5,043	・保安林の下草刈や大幡川桜並木を適正に維持管理に努める。 ・保安林内の松葉やごみの回収を産業課職員が対応しているが、年々量も増えていることから、実施方法の見直しを検討する。	見直しの上で実施	・保安林内の松葉やごみの回収について、引き続き実施方法を検討する。 ・事業内容を整理し、次期計画から松くい虫防除事業と統合する。	産業課
108	河川維持管理事業	河川総務費	6,559	・湯日川及び坂口谷川にある水門について、県から受託し、水門管理を実施している。 ・河川や海岸に関する同盟会等の活動を通して、河川や海岸の整備促進を図っている。	現状のまま継続	・湯日川及び坂口谷川にある水門について、県から受託し、水門管理を実施する。 ・河川や海岸に関する同盟会等の活動を通して、河川や海岸の整備促進を図る。 ・大井川右岸堤防について、路肩部の除草作業を実施する。 ・自治会等とともに大井川堤防敷清掃を実施する。	建設課
		河川維持管理費	4,244	・河川管理台帳システムの利便性向上を図るため、更新作業の準備をしている。 ・河川を適正に保つため、維持補修工事を実施している。			

第 4 章 魅 力 あ ふ れ る 多 様 な 交 流 を 生 む ま ち づ く り 分 野 4 道 路 網

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
109	大幡川幹線道路改良事業	大幡川幹線道路改良事業費	3,009	・地権者との折衝に先立ち、同意を得た線形について、詳細な検討を重ねる。 ・令和6年度からの、社会資本整備総合交付金の活用に向けて、交付金の要望を行う。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から都市計画道路負担金事業及び中央幹線整備事業と統合し、実施計画事業名を都市計画道路整備事業とする。	建設課
110	中央幹線整備事業	中央幹線整備事業費	11,720	・社会資本整備総合交付金を活用して、令和5年4月に土地売買及び物件移転補償の契約の締結を完了した。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から都市計画道路負担金事業及び大幡川幹線道路改良事業と統合し、実施計画事業名を都市計画道路整備事業とする。	建設課
111	都市計画道路負担金事業	都市計画道路事業負担金	46	・「志太榛原地区国道150号バイパス建設促進期成同盟会」及び「富士山静岡空港アクセス道路等建設促進期成同盟会」において、国及び県への要望活動を行う。	見直しの上で実施	・他市町と連携を図りながら国や県への要望活動を実施し、当町を含む広域的な道路整備の促進を図る。 ・事業内容を整理し、次期計画から大幡川幹線道路改良事業及び中央幹線整備事業と統合し、実施計画事業名を都市計画道路整備事業とする。	建設課
112	問屋堤線道路改良事業	問屋堤線道路改良事業費	6,183	・用地買収のため、地権者との交渉を進め、契約締結、登記を実施する。 ・道路改良に向けた工事を実施する。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から三軒屋西の宮線道路改良事業、下片岡山通り線道路改良事業及び中瀬北原1号線道路改良事業とともに道路改良事業へ統合する。	建設課
113	三軒屋西の宮線道路改良事業	三軒屋西の宮線道路改良事業費	12,579	・静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業補助金を活用して、令和5年5月に土地売買及び物件移転補償の契約の締結を完了した。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から問屋堤線道路改良事業、下片岡山通り線道路改良事業及び中瀬北原1号線道路改良事業とともに道路改良事業へ統合する。	建設課
114	下片岡山通り線歩道改良事業	下片岡山通り線歩道改良事業費	10,215	・引き続き、南側の歩道の工事を実施し、歩行者の安全性向上を図る。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から問屋堤線道路改良事業、三軒屋西の宮線道路改良事業及び中瀬北原1号線道路改良事業とともに道路改良事業へ統合する。	建設課
115	中瀬北原1号線道路改良事業	中瀬北原1号線道路改良事業費	—	・事業実施に向け、測量、調査及び用地交渉を行う。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から問屋堤線道路改良事業、三軒屋西の宮線道路改良事業及び下片岡山通り線道路改良事業とともに道路改良事業へ統合する。	建設課
116	道路改良事業	道路改良事業費	—	・着手済みの路線の事業を進める。	見直しの上で実施	・着手済みの路線の事業を進める。 ・シーガーデン整備等の町内で実施される他事業と調整を図りながら、新規事業を検討する。 ・事業内容を整理し、次期計画から問屋堤線道路改良事業、三軒屋西の宮線道路改良事業、下片岡山通り線道路改良事業及び中瀬北原1号線道路改良事業と統合する。	建設課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
117	道路維持管理事業	土木管理費	19,479	・土木行政運営のための各種システム、公用車等の維持管理を行い、所掌事務等を円滑に処理する。 ・道路等に関する期成同盟会をはじめとした各種団体の活動に参画し、事業の促進を図る。 ・町が管理する道路の維持修繕工事及び街路樹の剪定を行うことで、道路環境の維持管理に努めている。 ・町民・自治会からの土木事業等に関する要望に対し、速やかに対応する。	現状のまま継続	・土木行政運営のための各種システム、公用車等の維持管理を行い、所掌事務等を円滑に処理する。 ・道路等に関する期成同盟会を始めとした各種団体の活動に参画し、事業の促進を図る。 ・町が管理する道路の維持修繕工事及び街路樹の剪定を行うことで、道路環境の維持管理に努める。 ・町民・自治会からの土木事業等に関する要望に対し、速やかに対応する。	建設課
		道路維持費	57,520				
118	吉田町内道路舗装修繕事業	吉田町内道路舗装修繕事業費	44,616	・5年に1度の頻度で実施する路面性状調査により、舗装維持管理計画を更新する。 ・今後の舗装修繕に向け、舗装のたわみ量調査を実施し、舗装のCBR値を把握する。 ・舗装修繕の進捗を図るため、公共施設適正推進事業債を活用して、表層打換え工事を実施する。	見直しの上で実施	・令和5年度に実施する路面性状調査の結果に基づき、計画的な舗装修繕を実施する。 ・舗装の表層に係る補修は、公共施設適正推進事業債(長寿命化事業)を活用する。	建設課
119	橋梁維持補修事業	橋梁維持補修費	82,577	・定期的な橋梁点検を業務委託及び職員により実施する。 ・点検結果に基づき、補修等が必要となった橋梁の設計業務委託の発注準備をしている。 ・富士見新橋、大幡川幹線排水路第2号橋梁、問屋南橋の補修工事の発注準備をしている。	現状のまま継続	・引き続き、定期的な橋梁点検を実施するとともに、点検の結果補修等が必要となった橋梁について計画的な補修設計及び補修工事を実施する。	建設課

第 4 章 魅 力 あ ふ れ る 多 様 な 交 流 を 生 む ま ち づ く り 分 野 5 生 活 交 通

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
120	生活交通確保対策事業	生活交通確保対策費	28,478	・既存の路線バスだけでは対応できない町内の移動、バス停から遠い地点とバス停との移動を確保するため、「新しい交通」(オンデマンド型乗合タクシー)の実証実験を10月から実施する。 ・既存バス路線維持のため地域間幹線系統確保維持費補助金により、国庫補助路線の維持を図る。	現状のまま継続	・令和5年度の「新しい交通」の実証実験の結果を踏まえ、見直し等を行い、引き続き実証実験を継続する。	企画課

第 4 章 魅 力 あ ふ れ る 多 様 な 交 流 を 生 む ま ち づ く り 分 野 6 コ ミ ュ ニ テ ィ

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
121	自治会活動推進事業	自治振興費	16,562	・各自治会がそれぞれ地域の特性を生かし自発的に行っている自治会活動などを支援するため、引き続き、自治会運営費補助金を交付する。 ・町と自治会役員との連携や交流を図ることなどを目的として、各種研修事業を実施する。 ・令和6年度に創設から10年を迎える女性登用補助加算制度について、各自治会にアンケートを実施し意見を聴取するなどして今後の方向性を検討する。	現状のまま継続	・自治会組織、町内会組織の円滑な運営のため、引き続き、各種補助事業を実施し、より自発的、積極的なコミュニティ活動が行われるよう支援する。 ・女性登用補助加算制度について、一部の地域では女性の登用が定着しているものの、町全体としてはまだ時間がかかると思われるため、廃止するか継続するかについて引き続き検討する。	総務課
		自治会運営費	4,598				
		地域施設管理費	2,650				
		町内会運営費	3,800				
		町内会活動費	8,556				

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
122	コミュニティづくり推進事業	コミュニティづくり推進事業費	8	・コミュニティカレッジ受講者が地域教育推進協議会の企画する事業へ参画できるように、コミカレねっとわーく吉田と協力を図りながら、事業を推進する。また、自治会及び他団体にも協力依頼をする。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から社会教育委員事業とともに社会教育総務事業へ統合する。	生涯学習課
123	コミュニティ施設整備事業	コミュニティ施設整備事業費	3,300	・(一財)自治総合センターが実施する「令和5年度コミュニティ助成事業助成金」を活用し、住吉森下町内会及び新田町内会の備品整備を行っている。 ・各自治会を通じて、(一財)自治総合センターの「令和6年度コミュニティ助成事業」の要望調査を実施し、要望の取りまとめを行い、県へ申請する。	現状のまま継続	・「コミュニティ助成事業助成金」を効果的に活用できるよう、各自治会に周知を徹底し、事業を実施する。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野7 多文化共生

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
124	多文化共生推進事業	多文化共生推進事業費	591	・引き続き、吉田町国際交流協会の活動を支援し、内容を充実させることで町内在住外国人と地域住民の共生を推進する。 ・「静岡型初期日本語教室」の実施に向け、関係機関と連携し調整していく。 ・多文化共生コーディネーターと協力し、国や県が案内する情報を積極的に収集し、町アカウンタのSNSから外国人住民に必要な情報を発信する。	見直しの上で実施	・吉田町国際交流協会に対して補助金で支援するとともに、会員の募集及び事業内容の充実のため、活動をサポートしていく。 ・静岡型初期日本語教室を実施していく。	企画課

第4章 魅力あふれる多様な交流を生むまちづくり 分野8 賑わいづくり

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
125	シーガーデンシティ推進事業	シーガーデンシティ推進事業費	15,032	・吉田IC周辺のバス拠点整備に向け、基本設計業務委託、並びに社会資本総合整備計画策定支援業務委託を実施している。 ・吉田公園南側利活用に向け、官民連携手法の導入可能性について検討し、民設民営方式も視野に入れて協議していく。 ・引き続きシーガーデン整備に係る打合せ会を定期的に開催し、情報共有を図っている。	現状のまま継続	・吉田IC周辺のバス拠点整備については、昨年度までに整理した事業の方針に沿って、基本設計を進める。また乗換え利便性の向上に向け、高速バス会社やNEXCO中日本等とのより詳細な調整を進めていくとともに、来年度以降の詳細設計発注方法等についても公共工事支援機関から意見を賜りながら年内に検討を重ね、バス拠点完成に向けたより詳細なスケジュールを整理する。 ・吉田公園南側については、魅力的な賑わい創出環境、ならびにトータルコストを踏まえた実現可能な整備案を検討するべく、関係機関との調整を図りながら官民連携手法の導入に向けて、具体的な事業化手法を整理する。 ・吉田漁港多目的広場の賑わいづくりに向け、民間企業等の意見集約等を行う。	企画課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和6年度の方針		
126	シティプロモーション事業	シティプロモーション事業費	46,777	・若年世帯新築住宅取得応援補助金について、住宅メーカーや不動産業者のほか金融機関にチラシの配布による事業の周知を行い、さらに町外から通勤している従業員が多い大規模事業所へチラシの配布を行った。 ・ブランドメッセージとロゴマークの活用資材として、チラシやポスターを作成し庁舎内をはじめ、小中学校、保育園、公共施設に配架を依頼し周知を図っている。	見直しの上で実施	・若年世帯新築住宅取得応援補助金については、令和5年度をもって終了となる見通しのため、より効果的なシティプロモーション活動を実施し、移住定住者の促進につなげていく。 ・町のブランドメッセージやロゴマークを町民に浸透させるとともに、その活用を通じて町の主要施策の周知を図っていく。 ・町の認知度向上、移住促進に向け、町内の企業等と連携したシティプロモーションに取り組む。	企画課
127	ふるさと納税推進事業	ふるさと納税推進事業費	594,426	・楽天等のサイトの寄附額が伸びていない状況を改善するため、他自治体(宮城県気仙沼市)において寄附を伸ばしている事業者(町が導入している寄附管理システムの開発会社から推薦された事業者)へ受発注業者の変更を行う。(株式会社さとふるから結デザイン有限会社へ委託先を変更。さとふるのサイトのみ従来通り株式会社さとふるへの委託を継続する。) ・変更後は返礼品を掲載する全ての事業者の返礼品写真への文字入れ加工が可能となり、これまで株式会社さとふるの判断で行われていた返礼品ページの作り込み等も、各事業者分け隔てなく実施することが可能となことから、本取組が申込件数増加の一助となると考えている。	見直しの上で実施	・複数サイトから満遍なく寄附を得られる体制づくりを行い、安定した収入源となることを目指す。 ・数万件ある申込者との接点を活用し、寄附者と寄附自治体に留まっている関係から脱却し、関係人口・交流人口に繋げる施策を展開する。 ・寄附者を増やし、関係人口・交流人口に繋げることで資金面・人材面で持続的な行政運営を行う一助として本事業を活用する。	企画課
128	大井川流域交流事業	大井川流域交流費	354	・大井川流域の魅力発信や住民同士の交流促進について、流域市町と意見交換を行いながら情報発信の方法について検討している。	現状のまま継続	・引き続き、大井川流域の情報発信に努める。	企画課
129	空港活用推進事業	空港活用推進費	260	・静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業補助金を活用し、シーガーデン多目的広場整備事業、道路整備事業、河川整備事業、農業振興事業を実施する。 ・空港周辺市町空港共生協議会において、先進地視察、PR事業を実施する。	現状のまま継続	・空港と地域の調和ある発展を進めるため、吉田町空港対策協議会と連携しながら空港対策及び利活用促進を図る。 ・空港周辺市町が共通の認識の下に空港周辺のまちづくりや賑わいづくりに取り組むため、空港周辺市町空港共生協議会の事業を継続する。 ・静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業について、引き続きシーガーデン多目的広場整備事業等に補助金を活用する。	企画課
130	交流活性化推進事業	地域交流費	2,102	・八女市・吉田町未来創造の翼交流フォーラムの開催に向け、事業内容の検討等、調整を行っている。 ・カムカム補助金対象イベントの開催に向けた事業者のサポートを行っている。	現状のまま継続	・町内での大規模イベントの開催を促進するために、様々な媒体を活用し全国に向けて支援制度等を広く周知していく。	企画課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 1 幼 児 教 育

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
131	幼児教育振興事業	幼児教育振興事業費	96,552	・幼児教育の更なる推進のため、令和4年度に吉田町幼児教育カリキュラム実施委員会を開催し、幼保小の先生が幼児教育の充実に向けた話し合いを行うことにより相互の交流及び連携を深めることができたため、令和5年度においても同様に実施し、更に交流及び連携を深めている。 ・私立幼稚園運営費補助金については、交付の対象を見直した上で実施している。	現状のまま継続	・幼保小の交流・連携を深め幼児教育の充実を図るため、幼児教育カリキュラムについては、現状のまま継続して実践する。 ・私立幼稚園運営費補助金については、現状のまま継続して実施する。	学校教育課

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 2 学 校 教 育

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
132	教育委員会運営事業	教育委員会費	953	・教育大綱及び新学習指導要領に沿った教育施策を円滑に実施するため、総合教育会議及び教育委員会において充実した協議を行えるよう会議運営をしている。 ・学校現場に即した教育施策を協議するため、学校訪問等を実施する。	現状のまま継続	・教育についての知識及び見聞を広めるため、視察研修を実施する。 ・教育委員会の権限に委ねられている事項は、引き続き、円滑な執行に努めるとともに、新たな教育施策の執行に当たっては、総合教育会議で合意した方針の下に進める。	学校教育課
133	事務局事務事業	事務局事務費	2,190	・学籍管理、就学時健診の実施、経常経費の執行及び関係団体への負担金の納入等を適正に行うことで、適切な教育委員会事務局の運営を行っている。	現状のまま継続	・教育委員会の諸活動を円滑に実施するために、引き続き適切な教育委員会事務局の運営を行う。	学校教育課
134	教職員等教育活動補助事業	教職員等負担金・補助金	2,246	・中学校体育連盟大会運営負担金等の支出や中学校部活動補助金の交付を行い、教職員の指導力強化や部活動を通じた生徒の育成等を図っている。	現状のまま継続	・部活動補助事業については、対象者、対象経費等を確認し、必要な経費を適切に補助する。	学校教育課
135	ちいさな理科館事業	ちいさな理科館事業費	2,840	・新型コロナウイルス感染防止対策として、入口に手指消毒剤、館内トイレに除菌液を設置するとともに、室内の換気とスリッパ等の除菌を継続して行っている。 ・ちいさな理科館の取り組みを周知するため、町内企業をはじめ、町内小中学校などと連携した講座を展開している。 ・「ちいさな理科館の日」にイベントを引き続き実施し、理科館活動の活性化を図る。	現状のまま継続	・子どもだけでなく大人も活用できる地域住民の生涯学習の場としての事業を展開し理科館の活性化を図る。	生涯学習課
136	住吉小学校維持管理事業	住吉小学校維持管理費	31,318	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の維持に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
137	中央小学校維持管理事業	中央小学校維持管理費	38,046	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。 ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症になる移行の年であるため、社会的な情勢を把握しながら適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の維持に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
138	自彊小学校維持管理事業	自彊小学校維持管理費	28,711	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の維持に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
139	吉田中学校維持管理事業	吉田中学校維持管理費	71,715	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。 ・消毒や衛生環境保持に必要な物資等を購入し、適切な感染症対策を実施することにより、安全安心で良好な教育環境の維持に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
140	小・中学校要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	住吉小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,970	・経済的理由によって就学困難な児童生徒に必要な援助を行い、保護者負担を軽減し、児童及び生徒が等しく円滑に教育を受けることができる。 ・事務の簡素化及び効率化を図るため、就学援助費の定額支給について検討を始めた。	見直しの上で実施	・今後の国及び近隣市町の動向を注視しつつ事業を実施するとともに、入学説明会における周知等を行い、適切な援助を実施していく。 ・事務の簡素化及び効率化を図るため、就学援助費の定額支給を実施する。	学校教育課
		中央小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,654				
		自彊小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,282				
		吉田中学校要保護・準要保護生徒就学援助費	5,299				
141	小・中学校特別支援学級事業	住吉小学校特別支援学級費	528	・必要に応じた教育材料費の購入等を行い、特別支援教育の充実及び教育環境の向上を図っている。 ・特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、要領等に基づき、適切に経済的な支援を行っている。	現状のまま継続	・特別支援学級の教育環境を充実させるため、児童生徒の特性を鑑み、必要な教材等を提供することができる。 ・「特別支援学級への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、適切に経済的な支援を行うことができる。	学校教育課
		中央小学校特別支援学級費	837				
		自彊小学校特別支援学級費	520				
		吉田中学校特別支援学級費	1,290				
142	教育振興事業	教育振興事業費	31,554	・TCPトリビンスプランの総括及び見直しを実施するため、総合教育会議やTCPトリビンスプラン実施委員会において協議している。	見直しの上で実施	・令和5年度に実施するTCPトリビンスプランの総括及び見直しを踏まえ、目標や指標を達成できるよう実施計画を作成し、予算化して実行していく。	学校教育課
		英語教育推進事業費	15,557				
		確かな学力定着事業費	22,330				
		小中一貫教育振興事業費	341				

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
143	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(共同調理場)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(給食施設費)	131,660	・広域施設組合及び関係市と連携し、学校給食提供事業を展開していくため、負担金を支出している。	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び関係市と連携し、学校給食提供事業を展開していくため、負担金を支出する。	学校教育課
144	小・中学校健康診断事業	小・中学校健康診断費	10,845	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、児童生徒健康診断やフッ素洗口事業の適切な実施体制を整えた上で、適正に健康診断等を実施している。 ・吉田町立学校職員衛生委員会における意見等を踏まえ、労働安全衛生管理体制の整備や町内全小中学校に勤務する教職員を対象としたメンタルヘルスチェックの実施など、学校職員の職場における安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進している。	現状のまま継続	・労働安全衛生法及び吉田町学校職員安全衛生管理規定に基づき、健康診断等を通して健康管理を行う。 ・児童生徒が安心安全な学校生活を送ることができるよう、新型コロナウイルス感染症への対応を確実に実施するとともに、国、県、町健康づくり課の施策・動向に目を配りながら、適切な健康管理が行えるよう事業を行っていく。	学校教育課

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 3 地 域 教 育

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
145	地域教育推進事業	地域教育推進事業費	3,104	・目標達成に向け、各団体への支援を継続し、「地域の子どもは地域で育む」活動を推進する。 ・家庭教育学級を充実させることで、保護者の興味がある内容を学習する場を提供し、家庭での教育力を高めていく。 ・平日4時間授業に対応した放課後子ども教室を実施している。	見直しの上で実施	・各団体に継続した支援を行い、学校・家庭・地域の連携を強化する。 ・引き続き、家庭教育学級事業を通して、親の役割についての学びの場を提供する。また、親同士がお互いに子育ての悩みを語ったりすることを通して、親同士の交流を深める。 ・家庭教育学級事業において、多くの親に参加を求めていく必要があるため、魅力的な講座を展開していく。学校行事と抱き合わせて開催したり、親子で体験・参加できる形態をとることで参加しやすくし、また、親が安心して参加できるよう、託児の対応もしていくことで参加率を向上させる。 ・家庭教育学級の重要性を学校とも連携をとりながら、親へ呼びかける。 ・引き続き、3小学校区で4時間授業に対応した放課後子ども教室を実施する。 ・事業内容を整理し、次期計画からは地域教育活動事業のチャレンジ教室に関する事業を統合する。	生涯学習課
146	地域教育活動事業	地域教育活動費	1,384	・静岡県立朝霧野外活動センターで活動を行い、普段では体験できない海洋活動を実施する予定である。 ・チャレンジ教室については、閉講式で体験教室の時間を長めに設定することで、次年度への意欲へとつなげていく予定である。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画からチャレンジ教室に関する事業を地域教育推進事業へ、サマーステイに関する事業を青少年健全育成事業へ統合する。	生涯学習課

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 4 青 少 年 健 全 育 成

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
147	青少年健全育成事業	青少年健全育成事業費	731	・笑顔いっぱい運動事業による、現状の取組を継続していくことが、「地域の子どもは地域で育てる」という青少年健全育成の環境づくりにつながっている。今年度もこの事業を継続することで学校・家庭・地域の中に「黄色のベスト」をさらに定着させていく。そして、地域活動や学校応援団など他事業等でも黄色のベストを活用していただくことでこの事業を更に周知させていく。	見直しの上で実施	・笑顔いっぱい運動事業による、現状の取組を継続していくことが、「地域の子どもは地域で育てる」という青少年健全育成の環境づくりにつながると考えられるため、令和6年度もこの事業を継続していく。学校・家庭・地域の中に「黄色のベスト」をさらに定着させ、地域活動や学校応援団など他事業等でも黄色のベストを活用していただくことでこの事業を更に周知していく。 ・事業内容を整理し、次期計画からはたちの集いに関する事業を社会教育総務事業へ統合し、新たに地域教育活動事業のサマーステイに関する事業を統合する。	生涯学習課

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 5 芸 術 文 化 ・ 文 化 財

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
148	芸術・文化振興事業	芸術・文化振興事業費	3,464	・子どもたちに文化、芸術を親しめる場の提供を行う。 ・文化祭については、町民に日ごろの練習を披露する「発表の場」を提供する。文化祭により多くの町民が参加するよう、広報での情報提供などのPRをし、参加者を増やすよう努力する。	現状のまま継続	・住民が優れた芸術文化を鑑賞できる機会を得られるよう事業を継続する。 ・文化協会会員が減っている現状にあり、今後、町民に対し、生涯学習活動の一環として文化活動に取り組むよう、推進する必要がある。	生涯学習課
149	文化財保護事業	文化財保護事業費	550	・引き続き、文化財の適正な保存・保護に努める必要がある。 ・文化財現況調査の結果・指導経過を保存し、今後、有効かつ適正な維持管理をしていくための資料とする。	現状のまま継続	・文化財保護審議会を運営し、文化財の保存・保護に努める。 ・文化財の標柱・案内看板の維持管理を推進する。 ・新規に指定が考えられる事物について、文化財保護審議会での審議する。 ・文化財の保存・保護を図ることにより、郷土の歴史を知り歴史的遺産の価値を理解するとともに、郷土愛を育て、豊かな心を育む教育、文化づくりにつながる。	生涯学習課

第 5 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 6 生 涯 学 習

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
150	社会教育総務事業	社会教育総務費	7,776	・社会教育関係の様々な団体の研修会等について情報収集を行い、積極的に参加して、職員の資質の向上に努める。	見直しの上で実施	・引き続き、社会教育を推進するため、社会教育総務事業を実施する。 ・更なる職員の資質向上を図るため、研修会に参加する。 ・事業内容を整理し、次期計画から社会教育委員事業、コミュニティづくり推進事業及び青少年健全育成事業のはたちの集いに関する事業を統合する。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
151	社会教育委員事業	社会教育委員費	788	・令和4年度に実施予定の社会教育フェスティバル「つながろうよした」については、総合体育館が新型コロナウイルス予防接種の会場のため、中止となったが、引き続きより良いイベントとなるように協議を行っていく。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から社会教育総務事業へ統合する。	生涯学習課
152	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業費	96	・生涯学習推進員に対する研修の実施方法について検討していく。 ・業務委託をすることで障害者が必要としている学習の機会を提供していく。	見直しの上で実施	・生涯学習推進員への研修を充実させ、住民の生涯学習社会への理解を深める。 ・誰もが平等に学習機会を持てるよう、障害者に対し、生涯学習の活動支援を行う。 ・事業内容を整理し、次期計画から中央公民館活動事業の生涯学習教室に関する事業を統合する。	生涯学習課
153	中央公民館活動事業	中央公民館活動費	5,601	・町民の学習ニーズを把握するために、実施後にアンケート調査を実施し、ニーズに合った様々な分野の講座を開設し、参加者数を増やす。	見直しの上で実施	・継続して町民の学習機会を提供するため、参加者アンケート等を実施し、学習ニーズの把握に努める。 ・シニアカレッジへより多くの人に参加してもらうために、魅力ある講座を開講し、学習機会の充実を図る。 ・事業内容を整理し、次期計画から生涯学習教室に関する事業を生涯学習推進事業へ統合する。	生涯学習課
154	中央公民館運営事業	中央公民館運営費	6,818	・適切な維持管理を行うことにより、経常経費を抑えつつ、安全で快適な学習環境を整える。	現状のまま継続	・一層の節約を図りながら、利用者が安全で快適に学習活動が行えるよう施設管理を行っていく。	生涯学習課
155	学習ホール運営事業	学習ホール運営費	9,323	・コロナ対策が緩和されたため、その対応については各自の判断に任せつつ、各団体へ使用を促している。 ・引き続き、施設の運用について適正な維持管理に努める。 ・大規模改修に向けた調整。	見直しの上で実施	・安全に安心して利用できる施設とすべく、関係各課及び関係機関と協議し、老朽化や耐震性の課題に対して長寿命化計画の策定を検討する。	生涯学習課
156	図書館管理事業	図書館管理費	131,466	・修繕計画に基づき、施設の経年劣化に伴う修繕を実施している。 ・新型コロナウイルス感染防止対策として、入口に手指消毒剤、諸室に除菌シート、館内トイレに除菌液をそれぞれ設置し、引き続き利用者の協力を求めている。また、学習室、おはなし室に空気清浄機、視聴覚ホールにAI顔認証サーモグラフィーを設置し、感染症対策を講じて安全に利用できる環境を提供している。	現状のまま継続	・図書館機能を活用した「地域の知の拠点」づくり推進のため、建物、設備やIT機器等の性能及び機能を常時適切な状態に保つよう維持管理に努める。 ・図書館の安定的運営に資するため用地の買い上げを図る。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
157	図書館活動推進事業	図書館活動推進費	9,960	・保健センターでの7か月児健康相談におけるブックスタート事業のほか、子育て支援施設での読み聞かせ等、サービスの拡充について検討をしている。 ・現行の図書館運営実態に合わせ、図書館関係規則を改正する予定。 ・読書バリアフリー法の推進する読書環境の整備の一環として読書バリアフリーコーナー「りんごの棚」を活用し、誰でも読書を楽しめる図書等を提供している。今後も関連資料を継続して購入予定。 ・県の各部署や福祉課・都市環境課・企画課と連携した展示を行う予定。	現状のまま継続	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、町民の図書館利用の仕方やニーズが変化してきている。新しい生活様式にあった資料提供、図書館運営、行事を検討し、実施していく。 ・子ども読書推進計画の策定をめざし、子育て世代への支援体制を整備する。 ・読書バリアフリー法の制定、著作権法改正による業界の動向を注視しながら、新たなサービス展開に向け調査をし、環境を整備していく。	生涯学習課

第5章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり 分野7 スポーツ・レクリエーション

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
158	体育施設・広場維持管理事業	体育施設・広場維持管理費	9,600	・町ホームページにて、各施設の紹介、オンライン申請を一部始め、町民サービス向上に努めていく。 ・使用日誌の特記事項に記載があった場合には、早急に現状を確認し、対応策等について利用者へ報告している。	見直しの上で実施	・今後も利用者に対し快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、引き続き、施設・広場の適正な維持管理を実施する。 ・事業内容を整理し、次期計画から総合体育館運営事業及び吉田町体育センター運営事業と統合する。	生涯学習課
159	総合体育館運営事業	総合体育館運営費	29,271	・新型コロナウイルス対策が緩和されたため、その対応については各自の判断に任せつつ、各団体へ使用を促している。 ・新型コロナウイルス対策で制限していたトレーニング室の制限の内、利用時間・同時利用可能人数等の制限を変更し、トレーニング室利用者の利便性の向上につながっている。 ・ワクチン接種会場としての使用が全面・全期間から、半面・一部期間に変更になったため、アリーナの一般利用が可能になった。 ・各種の施設設備の保守点検を実施して適正な維持管理に努めるとともに、体育館の利用については利用者会議の開催や事前調整等を行ってスムーズな運営に努めている。 ・指定管理者制度移行について、民間のシンクタンクに管理運営手法調査検討業務を委託している。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から吉田町体育センター運営事業とともに体育施設・広場維持管理事業へ統合する。	生涯学習課
160	吉田町体育センター運営事業	吉田町体育センター運営費	1,750	・新型コロナウイルス対策が緩和されたため、その対応については各自の判断に任せつつ、各団体へ使用を促している。 ・日常点検及び早急な修繕対応を実施している。 ・施設の適正な維持管理に努める。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から総合体育館運営事業とともに体育施設・広場維持管理事業へ統合する。	生涯学習課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
161	社会体育振興事業	社会体育振興費	7,281	・令和3年度より実施している、しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業を活用し、常葉大学と連携することで、その保有する情報、資源を効果的に活用し、常葉大学及びスポーツ推進委員と町民が取り組みやすいスポーツ振興策を考えていく。 ・4年連続で実施出来ていない町駅伝大会について、問題が解消するようなコースの見直しなどを検討する。	見直しの上で実施	・しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業を活用し、常葉大学との連携を継続して行い、参加者を増やす取り組みを考える。また、町駅伝大会については、新コースで実施する予定である。	生涯学習課

第6章 豊かな自然と共生するまちづくり

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 1 上 水 道

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
162	水道事業会計(資本的支出)建設改良事業	建設改良費	233,343	- 安全な水道水を安定して供給するため、予定していた建設改良事業を着実に進める。 - 引き続き静岡県生活基盤施設耐震化等補助金の交付を受け、基幹管路の耐震化を進める。	現状のまま継続	- 水道水の安定供給を図るため、基幹管路の耐震化事業を進める。 - 法定耐用年数を経過した管路を更新する老朽管布設替事業では、漏水事故・地下漏水等の無効水量を減らすために計画的に布設替を実施していく。	上下水道課
		固定資産購入費	457				
163	水道事業会計(水道事業費)営業費用	原水浄水及び配水給水費	131,917	- 吉田町上水道事業給水条例や吉田町水道事業及び下水道事業会計規程等に基づく事務を行う。 - 地方公営企業会計制度等による企業会計基準で会計処理を実施する。 - 未収金徴収を引き続き行い、昨年度同様の収納率を維持する。 - 有収率を向上させるため、漏水調査や施設の適切な維持管理を行う。	現状のまま継続	水道事業は、「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与すること」を目的とし、安心して飲用できる安全な水道水を安定的に供給するため、吉田町上水道事業給水条例や吉田町水道事業及び下水道事業会計規程、地方公営企業会計制度等に基づき、適正な事務を行うとともに、漏水調査や施設の適切な維持管理を行う。	上下水道課
		受託工事費	1,650				
		業務費	43,334				
		総係費	21,694				
		減価償却費	238,706				
		資産減耗費	4,669				
		その他営業費用	90				
164	水道事業会計(水道事業費)営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	37,126	- 健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。 - 経営戦略に基づいて企業債の借入を行うが、償還額を見据え、経営の健全化を図る。	現状のまま継続	- 健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。 - 経営戦略に基づき、企業債の借入を必要最小限にとどめ、経営の健全化を図る。	上下水道課
		雑支出	31				
		消費税	18,928				
165	水道事業会計(水道事業費)特別損失	その他特別損失	0	会計処理上の様々な不測の事態に対応するため、特別損失を予算計上する。	現状のまま継続	会計処理上の不測の事態に対応するため、特別損失を予算計上する。	上下水道課
166	水道事業会計(水道事業費)予備費	予備費	0	様々な不測の事態に対応するため、予備費を予算計上する。	現状のまま継続	不測の事態に対応するため、引き続き予備費を予算計上する。	上下水道課
167	水道事業会計(資本的支出)企業債償還金	企業債償還金	165,403	「当該年度の借入額は当該年度の元金償還額を上回らないこと。」の原則を遵守しながら、引き続き借入先からの償還表に基づく償還を行い、企業債残高を減らす。	現状のまま継続	引き続き、借入の原則に基づき企業債残高を減らし、借入先からの償還表に基づいて企業債を償還する。	上下水道課
168	水道事業会計(資本的支出)国庫(県)支出金返還金	国庫(県)支出金返還金	336	静岡県生活基盤施設耐震化等補助金交付要綱に基づき、適正な事務処理を行う。	現状のまま継続	静岡県生活基盤施設耐震化等補助金交付要綱に基づき、適正な事務処理を行う。	上下水道課

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 2 下 水 道 ・ 浄 化 槽 ・ し 尿 処 理

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方針性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
169	公共下水道事業 繰出金	公共下水道費	567,800	・公共下水道事業が、滞りなく汚水処理を行えるよう引き続き繰出しを行う。	現状のまま継続	・公共下水道事業が滞りなく執行できるよう、下水道事業で賄うことができない費用に対して、一般会計からの繰出しを継続する。	上下水道課
170	公共下水道事業会計 (資本的支出)建設改良費	建設改良費	335,733	・令和5年度も下水道の普及促進のため、管渠整備を行うとともに、下水処理施設の地震対策及びストックマネジメント計画に基づく施設の改築・更新工事を実施する。	現状のまま継続	・下水道の普及促進のため、吉田町公共下水道全体計画及び吉田町公共下水道事業計画に沿って事業を実施する。 ・ストックマネジメント計画に基づき、下水処理施設の改築及び更新を実施する。 ・令和3年度に更新した下水道総合地震対策計画に基づき、地震対策事業を実施する。	上下水道課
171	公共下水道事業会計 (下水道事業費用)営業費用	管渠及び処理場費	133,961	・ストックマネジメント計画に基づく、点検調査結果により管路の清掃等必要な施設管理を適切に実施できている。 ・新たな小売電気事業者と契約をし、経費節減を図った。	現状のまま継続	・ストックマネジメント計画に基づく予防保全型の施設管理を行い、更新・修繕費用の抑制を図るとともに、安定した汚水処理機能を維持する。 ・原油価格・物価高騰の継続が見込まれるが、業務集約や水洗化率向上に努め、経費縮減・事業の効率を図る。	上下水道課
		総係費	38,368				
		減価償却費	407,863				
		資産減耗費	258				
172	公共下水道事業会計 (下水道事業費用)営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	70,711	・引き続き、適正な会計事務を行うため、借入先からの償還表等に基づく償還を行う。	現状のまま継続	・引き続き、借入先からの償還表に基づいて企業債利子を償還する。	上下水道課
173	公共下水道事業会計 (下水道事業費用)特別損失	その他特別損失	0	・特別損失を計上し、会計処理上の不測の事態に備えている。	現状のまま継続	・会計処理上の不測の事態に備えるため、特別損失を計上する。	上下水道課
174	公共下水道事業会計 (下水道事業費用)予備費	予備費	0	・下水道施設が常に使用できる状態を継続するため、不測の事態に備え予備費を計上する。	現状のまま継続	・引き続き、不測の事態に備え、予備費を計上する。	上下水道課
175	公共下水道事業会計 (資本的支出)企業債償還金	企業債償還金	427,862	・「当該年度の借入額は、当該年度の元金償還額を上回らないこと。」の原則を遵守しながら、引き続き借入先からの償還表に基づく償還を行い地方債残高を減らす。	現状のまま継続	・引き続き地方債残高を減らすため、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。	上下水道課
176	生活排水改善対策事業	生活排水改善対策事業費	61,573	・予算額を増額し、合併処理浄化槽の設置・転換希望者に対応している。	見直しの上で実施	・補助要望に対応するため、予算額を維持しつつ、国庫補助制度改正に歩調を合わせた支援を検討し、合併処理浄化槽の設置及び転換を推進する。	上下水道課
177	吉田町牧之原市広域 施設組合負担金(し尿 処理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(し尿処理費)	109,620	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的事業を展開していく。	現状のまま継続	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 3 環 境 衛 生

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
178	環境衛生推進事業	環境衛生推進事業費	2,803	・畜犬の飼育実態の把握に努めるとともに、保健所と連携した個別訪問や動物病院での個別指導を実施することで、飼い主への適正飼育や狂犬病予防注射の接種の働きかけを行う。また、飼い主のいない猫による生活環境問題を減少させるために、引き続き獣医師や協力団体と連携を行う。	現状のまま継続	・「狂犬病予防法」に基づく事務処理及び「動物の愛護及び管理に関する法律」で行える飼い主のいない猫による対策を講ずる。また、一般廃棄物処理業の届出に係る事務処理を適切に行う。	都市環境課
179	環境保全事業	環境保全費	12,726	・他課からの依頼による公共用地の除草作業や定期的な不法投棄のパトロールを実施することにより、生活環境の保全に努め良好な生活環境を維持する。	現状のまま継続	・引き続き、町民の環境美化活動に対する意識の啓発や活動の参加を促し、町民参加によるきれいで住みよい生活環境づくりを推進する。	都市環境課
180	環境教育推進事業	環境教育推進事業費	7	・令和4年度に引き続き、町民の環境問題に関する意識を高めるような、より身近で関心の高いテーマの学習の場を提供する。 ・吉田町みどりのオアシスまつり内において、環境教室を実施した。	現状のまま継続	・環境に対する啓発事業の拡大を図り、町民が環境について考える機会を増やす。また、他課との連携による環境啓発事業を実施する。	都市環境課
181	公害対策事業	公害対策費	5,726	・適正な環境監視と公害発生源対策を推進するとともに、新たな環境問題については関係機関と連携するなどして的確な対応を進めていく。	現状のまま継続	・各種法令に基づく、特定施設について、排出基準等の規制値の遵守や公害事故防止対策の指導を行うことにより、生活環境を保全する。	都市環境課
182	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(火葬場費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(火葬場費)	15,618	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していく。	現状のまま継続	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 4 ご み 減 量 ・ リ サ イ ク ル

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
183	ごみ減量・リサイクル推進事業	ごみ減量・リサイクル推進事業費	7,918	・一般ごみの減量化や資源化を推進するため、ごみの分別を徹底し資源化を図る。	現状のまま継続	・環境に配慮した循環型社会を目指し、一般廃棄物の適正処理やごみ減量化・資源化を推進する。	都市環境課
184	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	529,006	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していく。	現状のまま継続	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的な事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 6 章 豊 かな 自 然 と 共 生 す る ま ち づ く り 分 野 5 地 球 温 暖 化 防 止 対 策

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度 of 取組状況	令和6年度 of 方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
185	地球温暖化防止対策事業	地球温暖化防止対策事業費	400	・「吉田町住宅用新エネルギー機器等設置事業補助金交付要綱」に基づき、太陽光発電システムと蓄電池システムを同時設置する者に対し補助金を交付することで、環境負荷の少ないクリーンエネルギーの利用を推進し、二酸化炭素の排出を抑制する。	現状のまま継続	・「地球温暖化対策推進法」に基づき、様々な環境対策を推進し、町民や企業と協力することを視野に入れながら、地球温暖化を防止し、低炭素社会を実現する。	都市環境課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

第 7 章 行 政 と 住 民 が 一 体 と な っ て 取 り 組 む ま ち づ く り 分 野 1 行 財 政

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
186	一般行政事務事業(企画)	企画調査費	3,594	・中部5市2町首長会議に参加し、広域連携に関する調査・検討を行う。 ・中部5市2町による連携中枢都市圏形成に係る連携協定に基づき、連携して地域課題の解決に向けた取り組みを行っている。また、「しずおか中部連携中枢都市圏ビジョン」の掲載事業を実施する。 ・第5次吉田町総合計画後期基本計画及び第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績評価、第6次吉田町総合計画及び第4次吉田町国土利用計画の策定に伴い、吉田町総合計画等審議会を開催する。	見直しの上で実施	・絶えず変化する行政課題に対応するため、常に最新の情報を収集するとともに、調査研究を継続して行う。 ・中部5市2町による連携中枢都市圏形成に係る連携協定に基づき、連携して地域課題の解決に向けた取組を行い、「しずおか中部連携都市圏ビジョン」の掲載事業を継続して実施する。 ・第5次吉田町総合計画の総括評価を行うため、吉田町総合計画等審議会を開催する。 ・事業内容を整理し、次期計画から住民参画推進事業と統合する。なお、事業統合に合わせて、住民参画推進事業費を企画調査費へ統合する。	企画課
187	吉田町総合計画策定事業	吉田町総合計画策定事業費	5,438	・収集した基礎資料等を分析・活用すると共に「吉田町地域づくり推進委員会」及び「吉田町総合計画等審議会」を開催し、次期総合計画策定に向けた取り組みを進めている。	現状のまま継続	・第6次総合計画の進捗管理を行うと共に、第5次総合計画の総括評価を行う。	企画課
188	行財政構造改革推進事業	行財政構造改革推進事業費	28	・財務会計システムと連動した行政評価システムの構築に向けて、関係機関と調整を図り、運用時期や仕様等の方向性を決める。 ・吉田町地域づくり推進委員会において、第6次吉田町総合計画及び第4次吉田町国土利用計画の策定についてを審議する。 ・吉田町行財政構造改革推進本部会議において、第5次吉田町総合計画後期基本計画及び第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価についてを審議する。	見直しの上で実施	・非効率な事務運営を是正するため、「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」による、PDCAサイクルに基づいた事業の見直しを継続して実施する。 ・財務会計システムと連動した行政評価システムを構築する。 ・行政評価システムの運用に向け、職員研修会を実施する。 ・第5次吉田町総合計画の総括評価を実施するため、各課(局)へのシート作成を依頼し、吉田町行財政構造改革推進本部会議において審議する。	企画課
189	一般行政事務事業(総務)	一般行政事務費	43,814	・行政事務を、適正かつ円滑に執行するため、引き続き、事務改善に努める。 ・自衛隊家族会補助金を交付することにより、自衛隊家族会の事業を円滑に進めている。	現状のまま継続	・行政事務を、適正かつ円滑に執行し、最小の経費で最大の効果を上げられるよう、引き続き、事務改善に努める。	総務課
190	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(一般管理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(総務管理費)	25,904	・引き続き、牧之原市と連携を密に広域的事業を展開することで、事務の効率化を図る。	現状のまま継続	・引き続き、広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的事業を展開していくため、負担金を支出する。	総務課
191	日曜開庁事業	日曜開庁事業費	—	・日曜開庁事業を一層推進するため、引き続き、適正に事業を進める。	現状のまま継続	・引き続き、行政サービスの利便性の観点から、日曜開庁を実施する。	総務課
192	庁舎施設維持管理事業	庁舎管理費	86,000	・快適な公共施設空間を確保するために継続して維持管理を行う。 ・電力量の監視による空調運転時の最大需要電力の抑制を行い、節電を実施する。	現状のまま継続	・町民が快適に利用できる施設として、引き続き清掃・設備点検等の日常的管理及び建物・設備などの修繕を実施し、行政サービスの拠点となる庁舎の適切な維持管理を行うとともに、電力量の監視による空調運転時の最大需要電力を抑制することにより、維持管理費の削減を図る。	財政管理課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
193	公有財産管理事業	公有財産管理費	20,986	・公共施設の適正な維持管理を実施していくため、公共施設等総合管理計画を改訂する。 ・公共事業の用に供する予定がない普通財産の町有地について、早期に売り払うように努める。	現状のまま継続	・公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設の適正な維持管理を行う。	財政管理課
194	公用車管理事業	公用車管理費	3,510	・安全かつ迅速に公務を執行できるよう、引き続き公用車の適正な維持管理を行う。 ・公用車の更新に係る方針案の検討を行っている。その結果に基づき更新を進めていく。	現状のまま継続	・公用車の更新を進めながら、適正な維持管理を行う。	財政管理課
195	契約管理事業	契約管理費	1,510	・職員を対象とした契約制度説明会を開催するなどして、契約事務の適正な執行を図る。 ・現況に即した入札制度を検討する。	見直しの上で実施	・職員が契約事務を適正に執行できるよう、引き続き指導・助言を行う。 ・一部において電子入札システムを導入する。	財政管理課
196	選挙管理事業	選挙管理費	449	・公職選挙法に基づき、引き続き、公正かつ適正な事務処理を行う。	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく事業であり、引き続き、公正かつ適正に執行する。	総務課
197	明るい選挙推進事業	明るい選挙推進費	27	・選挙・政治に関する知識及び意識を一層向上させるため、引き続き、積極的な選挙啓発を行う。	現状のまま継続	・選挙・政治への関心を高めるため、引き続き、ポスターコンクール、選挙出前授業、選挙時の啓発等を行う。	総務課
198	参議院議員選挙事業	参議院議員選挙費	8,634	・令和5年度は、選挙の執行予定はなし。	休止	・公職選挙法に基づく参議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和6年度については、選挙の予定はない。	総務課
199	衆議院議員選挙事業	衆議院議員選挙費	—	・令和5年度は、選挙の執行予定はなし。	休止	・公職選挙法に基づく衆議院議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和6年度については、選挙の予定はない。	総務課
200	県知事選挙事業	県知事選挙費	—	・令和5年度は、選挙の執行予定はなし。	休止	・公職選挙法に基づく静岡県知事の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和6年度については、選挙の予定はない。	総務課
201	県議会議員選挙事業	静岡県議会議員選挙費	1,488	・令和5年4月9日が選挙期日であったが、無投票となった。	休止	・公職選挙法に基づく静岡県議会議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和6年度については、選挙の予定はない。	総務課
202	町長、町議会議員選挙事業	町長、町議会議員選挙費	—	・令和5年4月23日が選挙期日であったが、町長選挙、町議会議員選挙共に無投票となった。	休止	・公職選挙法に基づく吉田町長・町議会議員の選挙に関し、市町村が処理することとされている事務であるが、令和6年度については、選挙の予定はない。	総務課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
203	一般行政事務事業(戸籍住民基本台帳事務)	戸籍・住民基本台帳事務費	27,454	・証明書自動交付機を撤去予定(令和5年9月末)であり、証明書コンビニ交付での利用率向上のため、令和5年10月から証明書コンビニ交付の手数料減額を実施する。また、マイナンバーカードが必須となることから、マイナンバーカードの取得促進に努める。 ・マイナンバーカードの交付時期集中による混雑への対応のため、混雑が予想される時期は交付回数を増やすとともに、交付のための広報活動を行い平準化を目指す。	現状のまま継続	・戸籍システム及び住民情報系システムにおいて、令和7年度末までに国が定めた標準仕様書に準拠したシステムに移行するための準備を進める。 ・戸籍に氏名の読み仮名を記載するための改正法が令和7年度に施行予定であるため、システムの改修、事務手続き等を適正に執行していく。 ・証明書コンビニ交付サービスの周知、広報を行い、マイナンバーカードの取得とともにコンビニ交付サービス利用率の向上に努める。	町民課
		戸籍・住民基本台帳事務費(繰越明許)	3,520				
204	一般行政事務事業(出納管理事務)	出納管理事務費	2,596	・令和4年度の評価で対応した出納管理事務事業を、会計課職員内で共有し、誰もが同じレベルで業務を実施できるように取り組んでいる。	現状のまま継続	・現在の日本における金融業界の現状と課題に注視し、現金ベースでの当町財務の安定に向けて、公金管理を行う。	会計課
205	一般行政事務事業(議会)	議会運営費	64,484	・「開かれた議会」の実現に向け、吉田町議会基本条例の推進及び議会報告会の充実等に必要となる精査及び検討について支援を行う。 ・より円滑な議会運営を目指し、新たな議案審議方法の検討について支援を行う。 ・議会情報の発信について支援を行う。 ・議会活動及び議会運営の支援に必要な専門的知識の習得及び情報の収集を行う。	現状のまま継続	・「開かれた議会」の実現に向け、吉田町議会基本条例の推進及び議会報告会の充実等に必要となる検討をさらに行うとともに、その支援を積極的に行う。 ・デジタル社会の形成に向けて、議会ICT化について、より一層の推進を図るための支援を積極的に行う。	議会事務局
		議会調査活動費	3,007				
206	一般行政事務事業(監査)	監査委員費	931	・監査計画に基づいた監査を実施するとともに、さらに効率的かつ効果的な監査を目指し、日程及び監査対象等について検討する。 ・「吉田町監査基準」に準拠した効果的な監査を実施する。 ・監査に必要な情報収集に努めるとともに、知識の習得を目的とした研修等へ参加する。	現状のまま継続	・監査をより充実させるため、監査日程(回数)及び方法等について、引き続き検討する。 ・より効果的な監査をするため、監査資料等を検討する必要がある。 ・監査事務強化のため監査委員事務局の設置及び専門性を持った職員の配置について検討する必要がある。	議会事務局
207	統計調査事業	統計一般事務費	166	・諸統計調査により得られるデータは各種行政運営に必要なため、引き続き実施する。 ・登録調査員の新規登録のため、広報の方法及び内容を見直した上で、周知している。 ・統計要覧発行事業について、発行部数を見直す。内容については、最新のデータに更新して発行するが、出典が廃止された項目については、削除や修正等を行い改善を図る。	現状のまま継続	・各種行政運営に必要なデータを得るため、引き続き実施する。 ・令和7年実施予定の国勢調査に向けて、登録調査員確保のための継続的な募集を実施する。 ・統計要覧発行事業は、行政だけでなく住民、企業等に町の状況を正確に周知するために必要な事業であるため継続して実施し、部数については時代やニーズに沿ったものにできるよう検討を続ける。	企画課
		諸統計調査費	376				
208	土地取得事業繰出金	土地取得事業特別会計繰出金	—	・現在、対象となる償還は無い。	現状のまま継続	・現在、対象となる償還は無いが、今後、対象となる償還があれば適切に対応する。	財政管理課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実行状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
209	土地取得事業特別会計	一般管理費	18	・土地開発基金への積み立てを継続して行う。	現状のまま継続	・土地開発基金への積み立て及び用地先行取得が必要な場合に迅速な対応を実施する。	財政管理課
		財産取得費	0				
		繰出金	0				
		公債費	—				
210	普通財産活用事業	普通財産取得費	0	・土地取得事業特別会計から土地を買い戻すことを検討する予定である。	現状のまま継続	・土地取得事業特別会計で先行取得した土地を一般会計に買い戻すとともに、未利用財産の売却促進を図る。	財政管理課
211	財政管理事業	財政管理費	3,400	・令和5年度は第5次総合計画の最終年度であり、これまでの取組の集大成を図るとともに、第6次総合計画へとつなげるため、過去最大の予算規模となった。 ・交付税措置のない地方債の借入れを行わないことにより、後年度負担の抑制に努めた。	現状のまま継続	・後年度負担については、引き続き交付税措置率の高い有利な地方債を中心に借入れを行うことで抑制を図る。 ・社会保障費等の増加、会計年度任用職員を含めた人件費の増加、老朽化が進む公共施設等の適正管理等による財政需要の増加が見込まれる中で予算編成を行うことから、引き続き既存事業の必要性・妥当性を精査し財源を確保する。 ・第6次総合計画の開始に伴い、事業の必要性と妥当性を精査し、財源の捻出を図り、効率的な予算編成に取り組む。	財政管理課
212	公債費償還事業	公債費(元金)	1,053,705	・引き続き、借入先からの償還表に基づき償還する。	現状のまま継続	・引き続き、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。	財政管理課
		公債費(利子)	48,351				
		公債諸費	0				
213	基金費事業	財政調整基金費	966,077	・特定目的基金について、引き続き今後の事業実施に際し財源とするよう努める。	現状のまま継続	・引き続き特定目的基金の有効な活用を図るとともに、将来的な財政需要に備えた積立てについても検討する。 ・社会保障費等の増加、会計年度任用職員を含めた人件費の増加、老朽化が進む公共施設等の適正管理等による財政需要の増加が見込まれる中で予算編成を行うことから、既存事業の必要性・妥当性を精査し、財政調整基金等の基金の健全な資金運用に努める。	財政管理課
		減債基金費	1				
		環境保全基金費	1				
		小中学校建設基金費	13				
		教育振興基金費	382				
		ふるさとよしだ寄附金基金費	403,132				
214	予備費事業	予備費	0	・災害等の被害や不測の事態に備えるための予備費を措置し、事業内では対応できない緊急性のある不測の事態について、予備費を充用している。	現状のまま継続	・引き続き、緊急に解決すべき不測の行政課題に対応するため、予備費を措置する。	財政管理課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
215	税務総務事業	税務総務費	45,311	・税に関する専門知識習得のため、各種研修に積極的に参加している。 ・各種実態調査の実施により滞納処分を進め、公正な収納事務に取り組んでいる。	現状のまま継続	・引き続き、税務総務事業を継続し、税務事務の効率化を進める。	税務課
216	賦課徴収事業	賦課徴収費	55,436	・納期内の納付を促進するため、引き続き、口座振替の推進に取り組んでいる。 ・滞納者の各種実態調査(預金、給与、生命保険、年金、関係機関等)を早期に実施し、滞納処分を進めている。 ・国民健康保険税における年金特別徴収額について、平準化を実施することで、町民の利便性及び国民健康保険税制度への理解の向上につながるよう取り組んでいる。	現状のまま継続	・納期内の納付を促進するため、引き続き、口座振替の推進に取り組む。 ・引き続き、滞納者に対する各種調査を早期に実施し、滞納処分を進める。	税務課
217	会計年度任用職員対策事業	会計年度任用職員対策事業費	3,384	・公務災害、共済事務の担当者会議に参加した。(担当者) ・令和5年10月3日～6日に健康診断(健康診断・総合判定(特定検診)・胸部レントゲン健診・胃部エックス線検査)を実施する予定である。 ・職員のメンタルヘルスの向上につながるよう、ストレスチェックの診断結果を活用する。	現状のまま継続	・引き続き、行政運営を効率的かつ円滑に進めるため、必要に応じて会計年度任用職員を任用する。	総務課
218	人事管理事業	人事管理費	17,997	・採用試験の実施及び再任用等を適切に実施する。 ・年間を通して優秀な人材を確保するため、統一試験以外の試験も実施する。 ・円滑な行政運営を維持するため、必要に応じて年度途中での採用を実施する。	現状のまま継続	・優秀な人材を確保するため、引き続き、年間をととして職員採用試験を実施する。	総務課
219	職員福利厚生事業	職員福利厚生費	4,174	・産業医による健康相談を毎月第1木曜日に実施している。 ・新規採用職員全員を対象とした産業医の健康相談を実施する予定である。 ・令和5年10月3日～6日に健康診断(健康診断・総合判定(特定検診)、胸部レントゲン健診、胃部エックス線検査)を実施する予定である。 ・職員のメンタルヘルスの向上に繋がるよう、ストレスチェックの診断結果を活用する。	現状のまま継続	・地方公務員法第42条及び労働安全衛生規則に基づき、事業を継続して実施する必要がある。 ・平成27年度から義務化された、事業主によるメンタルヘルス不調の予防を目的とした「ストレスチェック」を継続して実施する必要がある。	総務課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
220	職員研修事業	職員研修事業費	3,017	・例年どおり階層別研修を実施する。 ・自治体DXの推進を図るため、さらに全職員の意識を醸成するための研修を実施する。 ・昨年度に引き続き、民間企業(JR東日本)との合同研修を実施する。 ・職員同士が自己研鑽し、知識・技能の習得及び資質の向上を図り、もって町民サービスの向上を図ることを目的とした「職員スキルアップゼミ制度」を創設した。 ・複数人の職員が、特定の課題に対する施策や新たな施策を立案し、立案した施策を課長会議において発表することにより、職員の資質の向上、組織の体制強化及び町民サービスの向上を図ることを目的とした「有志グループによる施策提案制度」を創設した。	現状のまま継続	・地方分権に伴う自律的な政策形成や組織運営を担うことができる職員の育成を図るため、引き続き、職員研修を実施する。	総務課

第 7 章 行 政 と 住 民 が 一 体 と な っ て 取 り 組 む ま ち づ く り 分 野 2 高 度 情 報 化

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
221	情報化推進事業	情報化推進費	82,191	・令和4年度に策定した吉田町DX推進計画に基づき、当該計画の具体的な取組となるアクションプランを各課と調整の上作成する。 ・令和4年度に引き続き、全職員を対象とした自治体DX研修を開催する。 ・リースアップに伴う情報系機器の更新を行う際、端末の調達については、職員のニーズに合ったものをできるだけ安価に導入できるようにする。	見直しの上で実施	・吉田町DX推進計画の具体的な取組となるアクションプランに基づき、町のデジタル化政策を推進する。 ・国が令和7年度末までを目標に進める自治体情報システムの標準化・共通化に伴う庁内システムの移行を着実に進める。 ・国、県のデジタル関連施策について、今後示される新たな方針等に係る情報を収集し適切に対応していく。	総務課

第 7 章 行 政 と 住 民 が 一 体 と な っ て 取 り 組 む ま ち づ く り 分 野 3 情 報 公 開

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実施状況	令和6年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
222	情報公開制度推進事業	情報公開制度推進費	5,766	・引き続き、吉田町情報公開条例及び個人情報保護法に基づき、適正に事業を進める。 ・改正された個人情報保護法の施行に伴い、個人情報を取扱う事務の透明性を図るため、個人情報ファイル簿の公表を行っている。	現状のまま継続	・吉田町情報公開条例及び個人情報保護法に基づき、適正に事業を進める。	総務課

第 7 章 行 政 と 住 民 が 一 体 と な っ て 取 り 組 む ま ち づ く り 分 野 4 広 報 ・ 広 聴

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
223	広報・広聴事業	広報・広聴事業費	10,520	・読者にとつての「見やすさ」、「分かりやすさ」を第一に考えて広報よしだの製作に努めていく。 ・広報よしだの配架依頼先を増やすなど情報弱者を発生させないよう努めていく。 ・作る側と見る側の双方が利用しやすいホームページとなるよう、リニューアルを進める。 ・LINEアカウントを活用し、町からの情報発信を充実させる。 ・広報紙への掲載のために取材した情報をホームページやSNSにも掲載し、迅速に情報提供を行っていく。	現状のまま継続	・引き続き、わかりやすく、親しみやすい広報紙の作成を心がける。 ・町民への説明責任を果たすとともに、町政に対するニーズを的確に把握し各種施策に反映させるため、引き続き、どこでも訪問しますDAY、町政報告会、お問い合わせフォーム等による広聴事業を実施する。 ・町内外に分かりやすい情報をより適切に発信していくため、ホームページのシステムやデザインのリニューアルを進める。 ・広報紙とホームページとの連動を強化していく。 ・公式LINEやInstagramなどSNSにおいて積極的に情報を発信していく。 ・公式LINEは社会情勢の変化等に合わせて新たなサービスとの連携等を検討しつつ、情報発信の面では現状を維持する。	総務課 企画課

第 7 章 行 政 と 住 民 が 一 体 と な っ て 取 り 組 む ま ち づ く り 分 野 5 住 民 参 画

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
224	吉田町表彰事業	吉田町表彰費	607	・引き続き、条例等に基づき、町の各分野における功労者を表彰する。 (吉田町表彰授与式: 令和5年11月10日(金)開催予定)	現状のまま継続	・町政に対する関心や参画意識を高めるため、引き続き、条例等に基づき、町の各分野における功労者を表彰する。	総務課
225	住民参画推進事業	住民参画推進事業費	0	・市町市民活動担当課長会議が開催され、他市町との意見交換を行った。 ・県が主催する説明会に積極的に参加し、そこで得た情報を住民へ発信する。	廃止	・事業内容を整理し、次期計画から一般行政事務事業(企画)へ統合する。なお、事業統合に合わせて、住民参画推進事業費を企画調査費へ統合する。	企画課

第 7 章 行 政 と 住 民 が 一 体 と な っ て 取 り 組 む ま ち づ く り 分 野 6 男 女 共 同 参 画 ・ 人 権 尊 重

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の取組状況	令和6年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
226	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進費	470	・広報よしだへ男女共同参画週間の記事を掲載する。 ・庁内の男女共同参画に関する取組の進捗状況及び令和5年度の方針を確認している。 ・よしだ未来フォーラム開催に向けて準備を進めている。	現状のまま継続	・啓発内容を見直し、目標値に到達するため、静岡県「男女共同参画社会づくり宣言」事業所及び団体に関する情報を町の広報誌やHP等を使用するなど、新しい手法に取組む。	企画課

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
227	人権啓発活動推進事業	人権・地域改善費	381	・人権啓発活動については、「吉田町人権を守る会」、「人権教育講演会」を実施する。 ・隣保館運営については、地域の身近な会館として機能を維持し、引き続き、教養講座を実施する。コロナ禍で実施できなかった「会館まつり」について、町内会と開催に向けて協議していく。	現状のまま継続	・住民の人権尊重意識の高揚を図るため、引き続き人権啓発活動を実施し、差別のない社会の実現に努めていく。	福祉課
		神戸西会館運営費	2,237				
228	人権教育事業	人権教育事業費	6	・人権教育は、すぐに理解・納得することは難しい問題である。担当者が様々な人権についての知識を得るために引き続き研修会に参加していく。また、人権教育講演会等「人権について考える場を提供する」ことで町民が人権問題に対する正しい理解と認識を深める機会を提供する。	現状のまま継続	・今後も、人権問題に対する正しい理解に向け、人権教育講演会の開催や広報活動等により町民の人権意識の向上を図り、加えて担当職員の研修会等への参加を継続することで職員の資質向上を図っていく。	生涯学習課

第 7 章 行 政 と 住 民 が 一 体 と な っ て 取 り 組 む ま ち づ く り 分 野 7 ユ ニ バ ー サ ル デ ザ イン

No.	実施計画事業名	令和4年度の予算事業		令和5年度の実組状況	令和6年度の方向性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
229	ユニバーサルデザイン推進事業	ユニバーサルデザイン推進費	0	・「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業助成金」を活用し、吉田町立図書館における照明のLED化を実施した。 ・今後庁舎内の窓遮熱対策事業、神戸西会館における非常用照明のLED化、町内小中学校における屋外トイレのユニバーサルデザイン化の実施を予定している。 ・ユニバーサルデザインを推進するための体制整備を検討する。	現状のまま継続	・「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業助成金」を効果的に活用できるよう、各課と連携を図り、引続き事業を実施する。 ・「誰もが暮らしやすいまち」に向け、庁内でユニバーサルデザインに関する情報を共有し、ユニバーサルデザインを推進する。	企画課